



令和 6 年版 消 防 年 報



豊後高田市消防本部
＜令和 7 年刊行＞

は じ め に

この消防年報は、令和6年（度）中における、豊後高田市の消防概況及び業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

消防関係機関はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただき、本市消防行政をご理解いただく一助となれば幸いです。

令和7年8月
豊後高田市消防本部



凡例

- 1 この年報は、豊後高田市の消防防災の全般にわたる基礎的な統計資料を収録しています。
- 2 統計表の「年中」とあるのは、暦年（1月1日から12月31日）、「年度」とあるのは、会計年度（4月1日から翌年3月31日）を表すものです。

目 次

■ 1 概 要

1-1	位置・地勢・・・・・・・・・・・・・・・・	5
1-2	管内面積・人口・世帯数・・・・・・・・	6
1-3	管内配置図・・・・・・・・・・・・・・・・	6
1-4	消防本部及び消防署等の所在地・・	6
1-5	沿革・・・・・・・・・・・・・・・・	7
1-6	歴代消防長、消防署長・・・・・・・・	13

■ 2 総 務

2-1	消防本部・消防署機構図・・・・・・・・	16
2-2	事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・	17
2-3	豊後高田市災害対策本部組織図・・	19
2-4	豊後高田市災害対策本部事務分掌・・	19
2-5	消防庁舎の現況・・・・・・・・・・	20
2-6	消防予算・・・・・・・・・・・・・・・・	25
2-7	職員配置表・・・・・・・・・・	26
2-8	職員の定数及び階級別実員・・	27
2-9	職員勤続年数表・・・・・・・・	27
2-10	職員年齢構成表・・・・・・・・	28
2-11	各種資格取得状況・・・・・・・・	29
2-12	消防職員表彰受賞状況・・	31
2-13	職員の消防学校・消防大学校等入校状況・・	32

■ 3 予 防

3-1	防火対象物の現況・・・・・・・・	34
3-2	消防用設備等設置件数・・・・・・・・	35
3-3	予防関係届出処理状況・・	36
3-4	防火管理の状況・・・・・・・・	37
3-5	建築確認用途別申請内訳・・	38
3-6	防火対象物の立入検査実施状況・・	39
3-7	危険物施設数と倍数・・・・・・・・	40
3-8	危険物施設数の推移・・・・・・・・	41
3-9	危険物規制許認可事務処理状況、危険物製造所等の手数料収入状況・・	42
3-10	危険物関係申請・届出受理状況・・	43
3-11	危険物施設の立入検査実施状況・・	44

■ 4 警 防

4-1	消防車両の配置状況・・・・・・・・	46
4-2	通信設備一覧・・・・・・・・	47
4-3	おおいた消防指令センターシステム（個別整備分）・・	48
4-4	消防無線局一覧・・・・・・・・	49
4-5	消防・救急資機材の現況・・	51
4-6	消防水利の現況・・・・・・・・	52
4-7	警防関係各種届出事務処理状況・・	53
4-8	相互応援協定・支援協定締結状況・・	53

■ 5 火災統計

5-1	火災の概要、損害額の推移	55
5-2	火災による死者の状況、火災による負傷者の状況	56
5-3	出火原因別火災発生状況	57
5-4	用途別・月別火災発生状況	58
5-5	種別・時間別火災発生状況	59
5-6	曜日別火災発生状況	60

■ 6 救急・救助統計

6-1	救急出動の推移、事故種別発生状況	62
6-2	曜日別、月別出動件数調べ	63
6-3	搬送人員	64
6-4	時間別出動件数	64
6-5	傷病程度別搬送状況	65
6-6	医療機関搬送先件数	65
6-7	救急隊員の行った応急処置件数	66
6-8	救急隊員の資格	66
6-9	応急手当普及啓発活動実施状況	67
6-10	救助出動状況	67
6-11	事故種別救助活動状況	67
6-12	地区別出動件数及び救助人員	68
6-13	月別出場件数及び救助人員	69
6-14	救助隊が使用する主な保有資機材	70
6-15	救助隊の教育訓練	71
6-16-1	全国消防救助技術大会の出場状況	71
6-16-2	大分県消防救助技術指導会の出場状況	71

■ 7 消防団

7-1	歴代消防団長	73
7-2	機構図・組織	73
7-3	名称・位置・管轄区域	74
7-4	消防車両配備状況	75
7-5	団員の条例定数及び実員数	76
7-6	消防団別勤務年数表	77
7-7	消防団員年齢表	77
7-8	消防団員表彰受賞状況	78
7-9	消防団員の消防学校等入校状況	79
7-10	階級別消防団報酬・手当	79
7-11	消防団相互応援協定締結状況	80

■ 8 資料編

歴代全国統一防火標語	82
気象観測情報	84
緊急消防援助隊編成表	85
AEDの設置状況① 公的施設	86
AEDの設置状況② 民間事業所等	87
市指定避難所・避難場所	89
津波避難ビル	90
福祉避難所	90

概 要



1 概 要

1－1 位置・地勢



東 経	1 3 1 度 2 6 分 5 0 秒
北 緯	3 3 度 3 3 分 2 2 秒
北 西	1 7 . 1 k m
南 北	2 3 . 2 k m
海 岸 線	1 6 . 2 k m
面 積	2 0 6 . 2 k m ²

当消防本部は、大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、東経131° 26、北緯33° 33'、東西の距離17.1km、南北の距離23.2km、総面積は206.24km²で、北は周防灘に面し、豊かな自然と温暖で過ごしやすい瀬戸内式気候に属し、年間の平均気温は15.6℃、平均降雨量は、1,423mmと温暖少雨で農作物の栽培にも適した環境に恵まれています。

当管内の東部から南部にかけては、ハジカミ山、尻付山、屋山、両子山や日本三叡山に数えられる西叡山等の山々が連なり、国東半島のほぼ中央の両子山から、放射状に延びた谷や峰々の谷間を桂川、真玉川、竹田川等が走り、河口付近に市街地が形成されています。

市土に占める林野面積の割合は56.7%と高く、市の東側や南側には、瀬戸内海国立公園や国東半島県立自然公園を擁し、市街地は市の南側を流れる桂川の河口付近に形成され、東に国東市、杵築市、南に宇佐市と接し、西は当管内の海岸部で国道213号線が走る風光明媚なリアス式海岸と遠浅の海で、海水浴場、キャンプ場、温泉が点在し、魚介類の宝庫として恩恵に浴しています。

また、当管内は、古くは、奈良時代から宇佐神宮の影響を強く受け、平安時代には宇佐神宮の荘園となり、独自の山岳仏教文化「六郷満山文化」が栄え、国宝（富貴寺大堂）をはじめ数々の歴史的遺跡が存在する地域です。鎌倉時代から戦国時代までの間は海路交通による関西方面との交流が盛んであったため、国東半島地域の武士団の瀬戸内海への本拠地となっていました。また明治以降においては関門地域への内海航路の拠点として西瀬戸地域の交流の結節点の役割を果たしてきました。平成17年3月31日には、旧豊後高田市、真玉町、香々地町の1市2町が合併し、新市、豊後高田市が誕生しました。

1－2 管内面積・人口・世帯数

令和 7 年 3 月 31 日現在

署 所 名	地 区 名	人口（人）	世帯数	管内面積
本 署	高田地区	16,464	8,295	124.57
	真玉地区	2,867	1,524	44.35
香々地出張所	香々地地区	2,347	1,266	37.69
合 計		21,678	11,085	206.61

1－3 管内配置図



1－4 消防本部及び消防署等の所在地

名 称	所 在 地	電話番号 F A X 番号
豊後高田市消防本部	〒879-0605	(0978) 22-3108
豊後高田市消防署	大分県豊後高田市御玉 147 番地	(0978) 22-3542
豊後高田市消防署 香々地出張所	〒872-1207 大分県豊後高田市見目 116 番地 1	(0978) 23-2822 (0978) 23-2823

1-5 沿革

年 表	出 来 事
昭和 45. 11. 1 (1970 年)	高田地区救急業務事務組合設立 豊後高田市・真玉町・香々地町・大田村の 1 市 2 町 1 村で救急業務を開設 救急車（ニッサン B 型級）を豊後高田ロータリークラブから寄贈 職員採用 6 人、市消防本部から 2 人出向、署長・庶務（定数 11 人）救急組合 8 人にて救急活動始動
昭和 46. 3. 23 (1971 年)	移動局 1 基増設（救急車）（移動局 計 3 基）
昭和 47. 10. 21 (1972 年)	消防一部事務組合設立要望書提出
昭和 47. 11. 15 (1972 年)	消防一部事務組合設立委員会発足
昭和 48. 3. 3 (1973 年)	関係市町村議会議決（豊後高田市・真玉町・香々地町）
昭和 48. 3. 15 (1973 年)	高田地域消防組合設立許可 第 1 回消防組合議会開催
昭和 48. 4. 1 (1973 年)	高田地域消防組合開設消防・救急業務を豊後高田市・真玉町・香々地町・大田村の 1 市 2 町 1 村で共同処理するため発足実働を開始 消防ポンプ自動車（ニッサン BD-1 型 A-2 級）真玉町から寄贈
昭和 48. 4. 21 (1973 年)	定数改正～職員採用 10 人（市から 5 人、新採用 5 人）（計 39 人）
昭和 48. 6. 30 (1973 年)	広報車（ミツビシバン 1600cc）を日本消防協会から寄贈
昭和 51. 3. 10 (1976 年)	消防ポンプ自動車（トヨタ BD-1 型 A-1 級）日本損害保険協会から寄贈
昭和 51. 3. 31 (1976 年)	大分県常備消防相互応援協定締結
昭和 51. 11. 27 (1976 年)	救急車（ニッサン 2B 型）を日本自動車工業会から寄贈
昭和 54. 4. 1 (1979 年)	職員採用 1 人（欠員補充 職員数計 39 人）
昭和 55. 8. 28 (1980 年)	職員採用 1 人（欠員補充 職員数計 39 人）
昭和 56. 12. 17 (1981 年)	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ 1-A 型 A-2 級）購入
昭和 57. 4. 1 (1982 年)	職員採用 3 人（定数条例改正）（定数 42 人、実員 41 人）
昭和 58. 3. 25 (1983 年)	救急車（トヨタ 2B 型）を日本自動車工業会から寄贈
昭和 58. 4. 1 (1983 年)	職員採用 1 人（職員数計 42 人）
昭和 61. 3. 25 (1986 年)	指令車（トヨタバン 2000cc）（株）佐々木食品から寄贈
昭和 61. 11. 26 (1986 年)	消防ポンプ自動車（いすゞ CD-1 型 A-2 級）更新
昭和 61. 11. 27 (1986 年)	広報車（トヨタバン 1500cc）更新
昭和 62. 4. 1 (1987 年)	豊後高田市財務規則の改正により、票簿会計の実施
昭和 62. 8. 20 (1987 年)	査察車（トヨタバン 1500cc）、充填機、軽可搬 日本消防協会事業船舶振興会から寄贈
昭和 62. 10 (1987 年)	大分県総合防災訓練実施（美和工業団地）
昭和 63. 4. 1 (1988 年)	職員採用 2 人（欠員補充）

昭和 63. 12. 27 (1988 年)	救急車 (トヨタ 2B 型) 日本損害保険協会から寄贈 (更新)
平成元. 4. 1 (1989 年)	職員採用 1 人 (欠員補充)
平成元. 9. 8 (1989 年)	消防ポンプ自動車 (いすゞ C D - 1 CD-1 型 A-2 級) 4WD 更新
平成元. 9. 15 (1989 年)	署内改装工事 (待機室、通信室等) H 元. 10. 31 完成
平成 2. 3. 14 (1990 年)	救助隊編成 (隊員 13 人)
平成 2. 11. 26 (1990 年)	高圧ガス製造許可申請 (12/12) コンプレッサー
平成 3. 1. 9 (1991 年)	救助工作車 (日野 II 型ウインチ付)、救助資機材一式
平成 3. 1. 21 (1991 年)	無線局空中線新設工事 H3. 3. 20 完成
平成 3. 3. 25 (1991 年)	新庁舎 (御玉 147 番地、仮庁舎) へ移転 (市庁舎から)
平成 3. 4. 23 (1991 年)	無線局住所変更許可 (御玉 147 番地)
平成 3. 4. 30 (1991 年)	事務所の位置変更許可 (大字御玉 147 番地) 県知事
平成 3. 6. 3 (1991 年)	ミニ消防車製 S53 年式スズキジムニー (4WD) を改造 (ストッピー君と命名) 3 軽検大分改造第 9 号 車検 6/6
平成 3. 8. 25 (1991 年)	訓練塔建設完成 H4. 2. 14 (補助事業・地方債借入) 主塔～鉄筋コンクリート 5 階建、高さ 17. 75m 延面積 212. 48 m ² 地下防火水槽貯水量 50. 64 m ³ 副塔～鉄骨 2 階建、高さ 10m、延面積 50 m ² 1 階車庫
平成 4. 4. 1 (1992 年)	職員採用 1 人 (欠員補充)
平成 4. 8. 19 (1992 年)	防火・防災用品交付式 (日本消防協会)
平成 4. 9. 4 (1992 年)	防火広報車 (いすゞバン 2000cc) 防火号を日本防火協会から寄贈
平成 5. 3. 1 (1993 年)	大分県高度情報ネットワークシステム端末装置一式購入
平成 5. 4. 1 (1993 年)	職員採用 2 人 (定数 48 人、実員 44 人)
平成 6. 3. 28 (1994 年)	防災用砂置場設置 4m×17m=68 m ² 貯蔵量 50 m ³
平成 7. 4. 1 (1995 年)	職員採用 2 人、補充 4 人 (定数 48 人、実員 46 人)
平成 8. 4. 1 (1996 年)	職員採用 2 人、欠員補充 1 人、定数 48 人、実員 47 人)
平成 8. 9. 19 (1996 年)	消防職員委員会規則の制定
平成 9. 4. 1 (1997 年)	職員採用 1 人 (欠員補充 職員数計 48 人)
平成 9. 8. 18 (1997 年)	査察車 (ニッサンサファリバン 4200cc) 更新購入
平成 9. 9 (1997 年)	航空隊合同防災訓練 (高田港)
平成 9. 12. 26 (1997 年)	定数条例改正 (実員 48 人、定員 51 人)
平成 10. 3. 31 (1998 年)	職員採用 3 人 (職員数計 51 人)
平成 10. 4. 1 (1998 年)	消防本部・署の機構改革 消防本部 2 課 (総務、警防) 6 係 (庶務、人事、警防、救急、 予防、指導)、消防署 5 係 (庶務、警防、救急、予防、指導)、 救急救命士誕生 (1 人)
平成 10. 4. 24 (1998 年)	2 B 型救急車更新 (救急 II 課程仕様)
平成 10. 11. 5 (1998 年)	救急救命士合格 (1 人)

平成 11. 10. 29 (1999 年)	水槽付消防ポンプ自動車 (日野 A-1 級) 積載水量 2.0t 寄贈
平成 12. 5. 9 (2000 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 12. 7. 8 (2000 年)	広報車 (ニッサンバン 1500cc) 更新
平成 12. 12. 9 (2000 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 12. 12. 28 (2000 年)	定数条例改正 (定数 52 人 実員 49 人)
平成 13. 4. 1 (2001 年)	職員採用 3 人 (欠員補充 職員数計 51 人)
平成 13. 9. 11 (2001 年)	潜水土免許取得 3 人
平成 14. 5 (2002 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 14. 11 (2002 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 14. 12. 10 (2002 年)	2 B 型救急車 (トヨタ II B) 更新 (救急 II 課程仕様)
平成 15. 1. 22 (2003 年)	香々地無線基地開局
平成 15. 1 (2003 年)	豊後高田市消防団モデル特別点検 (大分北部中核工業団地) 【消防団】
平成 15. 3. 31 (2003 年)	高規格救急車 (トヨタ) 日本損害保険協会より寄贈、受納式及び運用開始式
平成 15. 4. 1 (2003 年)	職員採用 1 人 (欠員補充) 市から 1 人出向 (定数 52 人 実員 50 人) 香々地出張所完成・供用開始
平成 15. 10. 23 (2003 年)	潜水土免許取得 3 人
平成 16. 5 (2004 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 16. 10 (2004 年)	潜水土免許取得 (1 人)
平成 16. 11 (2004 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 17. 3. 30 (2005 年)	高田地域消防組合解散
平成 17. 3. 31 (2005 年)	市町合併に伴い新市消防本部・消防署発足 条例定数 50 人 消防本部 3 課 (総務課、予防課、警防課)、6 係 (消防団係、庶務係、 予防係、警防係、救急係、救助係)
	消防署 3 小隊 4 分隊
	市町合併に伴い豊後高田市消防団発足 (条例定数 791 人、3 方面団 13 分団 61 部)、60 歳定年制導入
平成 17. 4. 1 (2005 年)	職員採用 1 人 (欠員補充) 市から 2 人出向
平成 17. 11 (2005 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 18. 4. 1 (2006 年)	職員採用 2 人 (欠員補充)
平成 19. 2. 15 (2007 年)	消防ポンプ自動車 (日野 CD-1 型 A-2 級) 4WD 更新
平成 19. 4. 1 (2007 年)	職員採用 2 人 (欠員補充) 市から 4 人出向 (定数 50 人 実員 52 人)、第 1 次行政改革のもと、消防団組織の再編整備を実施 (条例定 数 791 人から 700 人となる。11 分団 57 部)
平成 19. 8. 31 (2007 年)	消防団可搬ポンプ積載車 2 台更新 (8-4、10-1) 【消防団】
平成 20. 1 (2008 年)	消防職員が、香々地庁舎の窓口業務を兼務
平成 20. 3 (2008 年)	基本設計 3 月定例会予算議決

平成 20. 4. 1 (2008 年)	職員採用 2 人 (欠員補充) 定数 50 人、実員 51 人)、市から 3 人出向
平成 20. 4 (2008 年)	豊後高田市消防庁舎建設検討委員会設置
平成 20. 5 (2008 年)	第 1 回建設検討委員会開催
平成 20. 6 (2008 年)	第 2 回建設検討委員会開催
平成 20. 8. 28 (2008 年)	消防団可搬ポンプ積載車 2 台更新 (9-4、9-5) 【消防団】
平成 20. 9. 8 (2008 年)	第 3, 4 回建設検討委員会開催
平成 20. 9. 8 (2008 年)	基本設計業務委託契約締結
平成 20. 12 (2008 年)	第 5, 6 回建設検討委員会開催
平成 21. 2 (2009 年)	第 7 回建設検討委員会開催
平成 21. 2. 6 (2009 年)	建設予定地地質調査業務委託契約締結
平成 21. 3. 10 (2009 年)	建設予定地地質調査業務完了
平成 21. 3. 16 (2009 年)	新庁舎基本設計完成
平成 21. 3 (2009 年)	第 8 回建設検討委員会開催
平成 21. 4. 1 (2009 年)	職員採用 2 人 (欠員補充) (定数 50 人 実員 49 人)
平成 21. 6 (2009 年)	実施設計 3 月定例会予算議決
平成 21. 7. 28 (2009 年)	実施設計業務委託契約締結
平成 21. 9. 1 (2009 年)	監理委託契約締結
平成 21. 9. 4 (2009 年)	訓練塔 (副塔) 実施設計業務委託契約締結
平成 21. 9. 15 (2009 年)	小型動力ポンプ付積載車 更新 (10-4) 【消防団】
平成 21. 10. 6 (2009 年)	小型動力ポンプ付積載車 購入 (香々地出張所)
平成 21. 11. 10 (2009 年)	訓練塔 (副棟) 実施設計完成
平成 21. 12 (2009 年)	工事請負費 12 月定例会予算議決
平成 22. 1. 15 (2010 年)	新庁舎実施設計完成
平成 22. 1. 25 (2010 年)	訓練塔 (副塔) 新設工事請負契約締結
平成 22. 1. 26 (2010 年)	訓練塔 (副塔) 新設工事着工
平成 22. 2 (2010 年)	建築主体工事請負仮契約締結
平成 22. 3. 1 (2010 年)	大分県防災航空隊に職員 1 名派遣 平成 25 年 3 月 31 日まで (3 年間)
平成 22. 3. 18 (2010 年)	議会議案議決 建築主体工事請負契約締結 電気設備工事請負契約締結 機械設備工事請負契約締結
平成 22. 3. 24 (2010 年)	訓練塔 (副塔) 新設工事請負変更契約締結
平成 22. 3. 25 (2010 年)	新訓練塔 (副塔) 完成
平成 22. 4. 1 (2010 年)	職員採用 4 人 (欠員補充) (定数 50 人 実員 49 人)
平成 22. 4 (2010 年)	施工監理業務委託契約締結、建設予定地の既存施設等撤去工事着工
平成 22. 6. 2 (2010 年)	新消防庁舎起工式
平成 22. 10. 12 (2010 年)	消防救急デジタル無線 電波伝搬調査業務開始
平成 23. 1. 26 (2010 年)	庁舎棟・車庫棟・附属施設完成、新庁舎への引越し及び業務開始

平成 23. 2 (2011 年)	既存庁舎等撤去及び外溝工事着工
平成 23. 2. 24 (2011 年)	消防救急デジタル無線 電波伝搬調査業務完了
平成 23. 3. 10 (2011 年)	Jアラート設置工事
平成 23. 3. 22 (2011 年)	庁舎建設全事業完了・新消防庁舎落成式
平成 23. 3. 28 (2011 年)	消防本部に多目的輸送車（トヨタ CBA-TRH229W）購入・運用開始（ワンボックス ワゴンタイプ仕様）
平成 23. 3. 30 (2011 年)	救急車搭載用半自動体外式除細動器一式・救急救命講習蘇生人形一式購入・共用開始
平成 23. 4. 1 (2011 年)	職員採用 4 人（欠員補充）市へ 1 人出向（定数 50 人 実員 50 人）
平成 23. 4. 14 (2011 年)	大分県消防長会春季総会を本市で開催
平成 23. 4. 15 (2011 年)	大分県消防長会主催第 34 回消防職員意見発表会を本市で開催
平成 23. 7. 14 (2011 年)	平成 23 年度前期県下消防団長会議を本市で開催（～15 日）
平成 23. 10. 1 (2011 年)	消防団員条例定数（700 人から 633 人に）改正
平成 24. 3. 30 (2012 年)	大分県常備消防相互応援協定締結
平成 24. 5. 24 (2012 年)	消防団へ水災害安全対策装備品（ライフジャケット）、貸与（330 着）
平成 24. 6. 25 (2012 年)	緊急消防援助隊支援資機材（エアーテント 一式）が無償貸与
平成 24. 7. 2 (2012 年)	消防団へ救助用資機材貸与（全分団）【消防団】
平成 24. 8. 7 (2012 年)	消防団へ小型動力ポンプ付積載車引渡（第 6 分団第 6 部）【消防団】
平成 24. 9. 21 (2012 年)	非接触型静脈可視化装置一式を購入
平成 25. 1. 29 (2013 年)	高規格救急車（日産）日本損害保険協会より寄贈、受納式及び運用開始式
平成 25. 3. 31 (2013 年)	県下 18 市町村大分県消防団相互応援協定締結【消防団】
平成 25. 4 (2013 年)	救急救命士合格（1 人）
平成 25. 11. 22 (2013 年)	消防団小型動力ポンプ（B-3 級） 更新（2-4、4-5、11-3）【消防団】
平成 26. 1. 31 (2014 年)	消防救急デジタル無線整備実施設計完成
平成 26. 3. 27 (2014 年)	遠隔画像伝送システム導入
平成 26. 4 (2014 年)	救急救命士合格（1 人）
平成 26. 12. 17 (2014 年)	消防団小型動力ポンプ（B-3 級） 更新（1-4、2-2、3-1）【消防団】
平成 27. 3. 31 (2015 年)	消防救急デジタル無線通信指令設備整備工事完成
平成 27. 4. 1 (2015 年)	職員採用 2 人（定数 50 人 実員 47 人）
平成 27. 12. 1 (2015 年)	消防団防災広報車（日産バネット）日本消防協会より寄贈
平成 27. 12. 22 (2015 年)	総務省から市へ救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の貸与 消防団（1-1）に配備【消防団】
平成 27. 12. 22 (2015 年)	消防団小型動力ポンプ（B-3 級） 更新（3-3、5-6、10-3）【消防団】
平成 28. 4. 1 (2016 年)	消防団本部付女性部（実員 10 名）発足【消防団】
平成 28. 11. 29 (2016 年)	高規格救急車（トヨタ）購入《高救 2》
平成 29. 2. 3 (2017 年)	消防団小型動力ポンプ（B-3 級） 更新（4-3、5-2、10-5）【消防団】

平成 29. 4. 1 (2017 年)	職員採用 1 人
平成 30. 2. 20 (2018 年)	消防団小型動力ポンプ (B-3 級 4 ストローク) 更新 (2-3、3-5、9-1)
平成 30. 3. 9 (2018 年)	高規格救急車 (トヨタ) 購入 ≪高救 1≫
平成 31. 3. 25 (2019 年)	救助工作車 II 型 (日野) 購入 ≪高消 4≫救助資機材一式
令和 元. 9. 20 (2019 年)	消防団小型動力ポンプ (B-3 級 4 ストローク) 更新 (5-3、6-3、11-1)
令和 元. 12. 9 (2019 年)	防災活動車 (三菱デリカ D5) 寄贈 公益社団法人 日本消防協会
令和 2. 2 (2020 年)	消防タンク車購入 (日野) ≪高消 3≫
令和 2. 4. 1 (2020 年)	職員採用 2 人
令和 3. 3 (2021 年)	救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車貸与 (消防団 2-1)
令和 3. 4. 1 (2021 年)	職員採用 2 人
令和 4. 3. 6 (2022 年)	救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車貸与 (消防団 1-2) 小型動力ポンプ付き積載車 (消防団 3-1. 10-6)
令和 5. 3. 19 (2023 年)	救助用資機材小型動力ポンプ搬送車貸与 (消防団 2-4) 小型動力ポンプ付き積載車 (消防団 10-3. 10-5)
令和 5. 11. 29 (2023 年)	高規格救急車 (トヨタ) 購入 ≪高救 3≫ 運用開始日 12. 6 式典
令和 6. 4. 1 (2024 年)	職員採用 1 名 おおいた消防指令センターへ消防吏員を 1 名派遣
令和 6. 6. 16 (2024 年)	小型動力ポンプ付き積載車 (消防団 4-5 10-2)
令和 6. 8. 23 (2024 年)	第 52 回全国消防救助技術大会 (ほふく救出) 出場 (千葉県) 出場選手 (東恭平・川野亮治・酒井駿)
令和 6. 10. 1 (2024 年)	おおいた消防指令センター運用開始 (7. 9 豊後高田市指令システム切替)
令和 7. 3. 25 (2025 年)	小型動力ポンプ付き積載車 (消防団 5-6 11-3)

1－6 歴代消防長、消防署長

歴代消防長

歴代	氏 名	在 職 期 間	在職年数	備 考
初代	水 之 江 俊 彦	昭和45年11月 1日 ～ 昭和58年 3月31日	12年5月	
2代	橋 本 公 則	昭和58年 4月 1日 ～ 昭和63年 3月31日	5年	
3代	倉 田 安 雄	昭和63年 4月 1日 ～ 昭和63年12月31日	9月	管理者
4代	植 木 一 雄	昭和64年 1月 1日 ～ 平成 9年 3月31日	8年4月	
5代	永 野 修	平成 9年 4月 1日 ～ 平成13年 3月31日	4年	
6代	後 藤 俊 信	平成13年 4月 1日 ～ 平成15年 3月31日	2年	
7代	安 藤 義 文	平成15年 4月 1日 ～ 平成20年 3月31日	5年	
8代	福 光 博 文	平成20年 4月 1日 ～ 平成22年 3月31日	2年	
9代	田 中 穂 波	平成22年 4月 1日 ～ 平成23年 3月31日	1年	
10代	門 岡 博 通	平成23年 4月 1日 ～ 平成24年 3月31日	1年	
11代	後 藤 勲	平成24年 4月 1日 ～ 平成26年 3月31日	2年	
12代	渡 邊 和 幸	平成26年 4月 1日 ～ 平成28年 3月31日	2年	
13代	榎 本 久 光	平成28年 4月 1日 ～ 平成29年 3月31日	1年	
14代	宗 高 徳	平成29年 4月 1日 ～ 令和 2年 3月31日	3年	
15代	隈 井 智	令和 2年 4月 1日 ～ 令和 3年 3月31日	1年	
16代	榎 本 賢 二	令和 3年 4月 1日 ～ 令和 5年 3月31日	2年	
17代	友 久 優	令和 5年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月31日	2年	
18代	山 田 幸 茂	令和 7年 4月 1日 ～		

歴代署長

歴代	氏 名	在 職 期 間	在職年数	備 考
初代	水 之 江 俊 彦	昭和45年11月 1日 ～ 昭和58年 3月31日	12年 5月	消防長兼務
2代	植 木 一 雄	昭和58年 4月 1日 ～ 昭和61年 2月28日	2年11月	
3代	橋 本 公 則	昭和61年 3月 1日 ～ 昭和63年 3月31日	2年 1月	消防長兼務
4代	近 藤 寿 治	昭和63年 4月 1日 ～ 平成 7年 3月31日	7年	
5代	植 木 一 雄	平成 7年 4月 1日 ～ 平成 8年 3月31日	1年	消防長兼務
6代	後 藤 俊 信	平成 8年 4月 1日 ～ 平成13年 3月31日	5年	
7代	安 藤 義 文	平成13年 4月 1日 ～ 平成15年 3月31日	2年	
8代	後 藤 公 則	平成15年 4月 1日 ～ 平成19年 3月31日	4年	
9代	田 中 穂 波	平成19年 4月 1日 ～ 平成22年 3月31日	3年	
10代	門 岡 博 通	平成22年 4月 1日 ～ 平成23年 3月31日	1年	
11代	板 井 雅 彦	平成23年 4月 1日 ～ 平成26年 3月31日	3年	

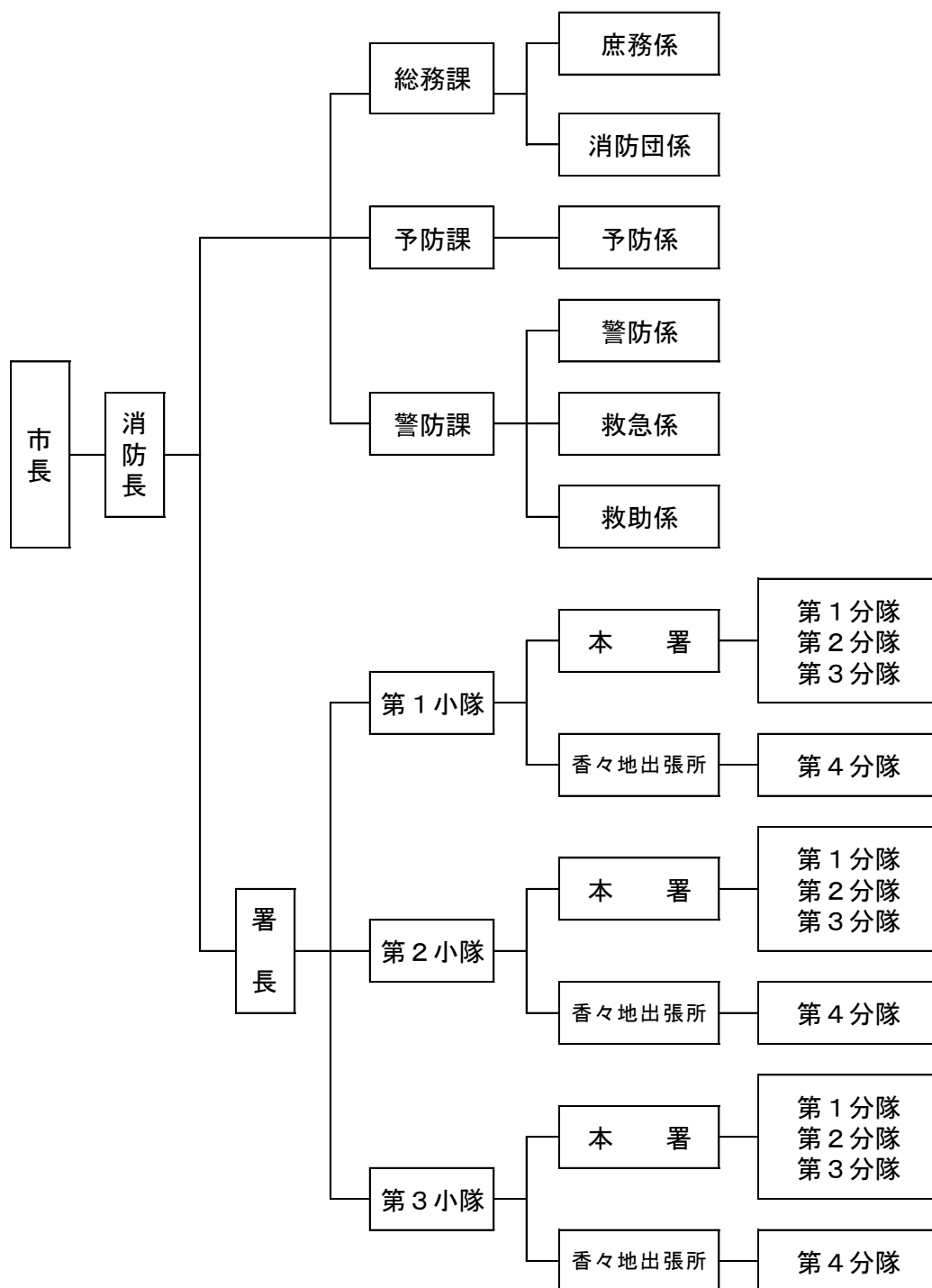
12代	宗 高 徳	平成26年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日	3年	
13代	隈 井 智	平成29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日	3年	予防・警防課長兼務
14代	高 橋 幸 次	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日	1年	
15代	友 久 優	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日	2年	予防課長兼務
16代	小 川 精 一	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月31日	2年	予防課長兼務
17代	山 田 真 作	令和 7年 4月 1日 ~		予防課長兼務

総務



2 総 務

2 - 1 消防本部・消防署機構図（令和6年4月1日現在）



2－2 事務分掌

○総務課

庶務係

- (1) 財産の使用管理に関する事。
- (2) 職員の人事に関する事。
- (3) 職員等の教養、服務及び規律に関する事。
- (4) 職員等の公務災害及び福利厚生に関する事。
- (5) 消防職員委員会に関する事。
- (6) 公印の保管及び文書、統計等に関する事。
- (7) 消防表彰に関する事。
- (8) 貸与品に関する事。
- (9) 消防広報に関する事。
- (10) 他の係に属しない事務に関する事。

消防団係

- (1) 財産の使用管理に関する事。
- (2) 消防団員の人事に関する事。
- (3) 消防団員の教養、服務及び規律に関する事。
- (4) 消防団員の公務災害及び福利厚生に関する事。
- (5) 消防団員の表彰に関する事。
- (6) 貸与品に関する事。
- (7) その他の消防団に関する事。

○予防課

予防係

- (1) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (2) 火災調査資料の収集、分析、統計及び保存に関する事。
- (3) 予防査察の計画、実施及び違反処理の指導に関する事。
- (4) 防火思想の普及及び消防広報に関する事。
- (5) 防火管理者及び防火クラブの育成に関する事。
- (6) 建築許可等の同意及び通知に関する事。
- (7) 消防用設備等の指導及び消防設備士の育成、指導に関する事。
- (8) 火気使用設備等の指導に関する事。
- (9) 防火対象物の規制に関する事。
- (10) 住宅防火診断に関する事。

- (11) 備品の使用管理に関すること。
- (12) その他の火災予防に関すること。
- (13) 危険物製造所等の許可、認可、届出及び検査に関すること。
- (14) 危険物製造所等の指導、取り締まりに関すること。
- (15) 液化石油ガス及び火薬の許可等の意見書に関すること。
- (16) 危険物安全協会に関すること。
- (17) 危険物の規制に関すること。
- (18) その他の危険物関係の調査、指導に関すること。

○警防課

警防係

- (1) 警防計画及び統計に関すること。
- (2) 火災及びその他の災害の警戒、防ぎよに関すること。
- (3) 消防相互応援に関すること。
- (4) 機械器具の整備、保全及び研究改善に関すること。
- (5) 機械器具の操作技術の研究及び指導に関すること。
- (6) 訓練、演習及び地理、水利に関すること。
- (7) 消防団及び事業所等の訓練、指導に関すること。
- (8) 豊後高田市火災予防条例（平成17年豊後高田市条令第140号）による届出等に関すること。
- (9) 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号）に基づく整備、管理に関すること。
- (10) 消防車両、機械器具の使用、維持管理に関すること。
- (11) 消防車両の運転及び整備技術の指導に関すること。
- (12) 消防車両の燃料管理に関すること。
- (13) 通信設備の整備及び管理に関すること。
- (14) 消防通信業務に関すること。
- (15) 災害現場の情報収集に関すること。
- (16) 災害情報、気象状況及び広報に関すること。
- (17) 災害に関する報告及び統計に関すること。
- (18) 開発行為による水利の協議事項に関すること。
- (19) 自主防災組織の推進に関すること。
- (20) 消防職員の勤務編成に関すること。
- (21) 消防職員の教養、訓練及び服務に関すること。
- (22) 職員等の安全対策に関すること。
- (23) 備品の使用管理に関すること。
- (24) その他警防に関すること。

救急係

- (1) 救急業務に関すること
- (2) 救急の統計、報告及び証明に関すること。
- (3) 救急資器材の整備に関すること。
- (4) 救急の教育訓練に関すること。
- (5) 機械器具の保全及び点検に関すること。
- (6) 人工呼吸法及び応急措置の指導に関すること。
- (7) 医師会、医療機関等との連絡調整に関すること。
- (8) その他救急に関すること。

救助係

- (1) 潜水業務に関すること。
- (2) 統計及び報告に関すること。
- (3) 救助及び潜水資器材の整備に関すること。
- (4) 救助及び潜水の教育訓練に関すること。
- (5) 機械器具の保全及び点検に関すること。
- (6) その他救助に関すること。

2－3 豊後高田市災害対策本部組織図

豊後高田市災害対策本部規程 別表第1（第5条関係）

部	部長	副部長	係	係長	係員
消防部	消防長	消防本部総務課長 消防署長	消防係	消防署長(兼)	消防本部職員

2－4 豊後高田市災害対策本部事務分掌

豊後高田市災害対策本部規程 別表第2（第5条関係）

部	係	分掌事項
消防部	消防係	(1) 気象情報、予報、警報等の収集伝達に関すること。 (2) 市民に対する災害情報の広報に関すること。 (3) 災害に対する警戒及び防御に関すること。 (4) 消防団員の動員及び配備に関すること。 (5) 避難勧告、指示による避難者の誘導及び救助に関すること。 (6) 人命救助及び救急活動に関すること。 (7) 行方不明者の捜索に関すること。 (8) 災害通信の運用に関すること。 (9) 各部の業務援助に関すること。

2-5 消防庁舎の現況

(1) 庁舎関係

名 称	構 造	概 要
豊後高田市 消防本部・ 消防署	総事業費 389,544,750 円 H23.3.15 完成 ・ 消防庁舎棟 鉄筋コンクリート 2 階建 ・ 車庫棟 鉄骨平屋建 ・ 団車庫棟 鉄骨平屋建	【敷地面積】 約 6,300 m ² 【建築面積】 780.62 m ² 【延床面積】 1,275.14 m ² ・ 消防庁舎棟 839.75 m ² (1 階) 462.59 m ² (2 階) 377.16 m ² ・ 車庫棟 302.81 m ² ・ 団車庫棟 132.58 m ²
豊後高田市 消防署 香々地出張所	総事業費 22,493,500 円 H15.4.1 完成 ・ 木造一部鉄骨造 平屋建	【敷地面積】 472.59 m ² 【延床面積】 186.66 m ²

(施設の概要)

- 1 階 : 消防署事務室、通信指令室、出動待機室、消防装具室、救急装具室、倉庫、多目的トイレ
- 2 階 : 消防本部事務室、消防長室、会議室、非常用備蓄倉庫、書庫、男女トイレ
- 車庫棟 : 緊急車両 6 台駐車、資機材倉庫、水防倉庫
- 付属施設 : 消防団車庫倉庫、駐車場 (61 台駐車可)、駐輪場

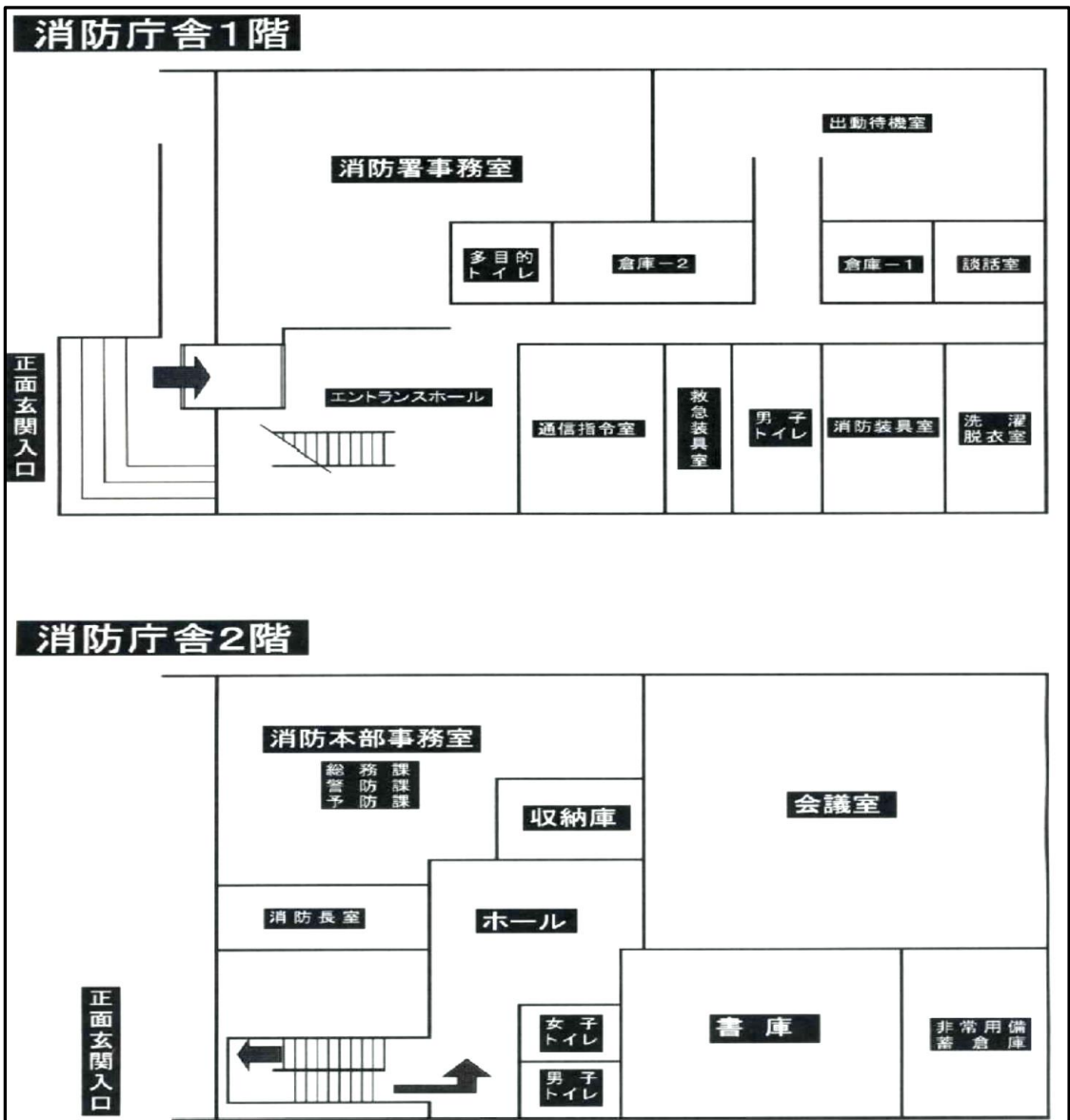
(特 徴)

- ・ 大規模地震にも耐えられる強固な構造
- ・ 出動しやすく、機能的でコンパクトな構造
- ・ 非常災害に対応するため、備蓄倉庫及び水防倉庫を併設
- ・ 地球温暖化対策として、太陽光発電設備を設置
- ・ 訓練塔と一体的に整備した広い訓練スペース

(2) 訓練塔関係

名 称	構 造	概 要
訓練塔主塔	総事業費 38,662,921 円 H3.8.25 完成 ・鉄筋コンクリート造 5 階建 (地下・防火水槽 50.64 m ³)	【延床面積】 212.48 m ² 【高さ】 17.75m
訓練塔副塔	総事業費 5,017,950 円 H22.3.25 完成 ・鉄骨造 2 階建	【延床面積】 50.00 m ² 【高さ】 10.00m

(3) 消防庁舎平面図



(4) おおいた消防指令センターの概要

令和6年10月1日から「おおいた消防指令センター」(以下「指令センター」という。)で消防指令業務の共同運用を開始しました。

指令センターは、大分県全域の119番通報を一括で受け付けし、災害場所を特定した後に、管轄消防署へ出動指令を行います。県下14消防本部との連携・協力により消防指令業務の共同運用を行うことで、大分県全体の消防力の維持・強化を図り、住民の安全・安心な暮らしを守ります。

◆119 番通報受け付けから出動までの流れ

- 通報受付 大分県全域からの119番通報を一括で受け付けます。
- 発信地表示 通報地点を自動的に特定します。
- 予告指令 通報内容を聞き取りながら、予告指令を出します。
- 災害種別等の決定 通報内容を元に、場所や事故種別を決定します。
- 出動隊編成 災害場所や災害内容等に応じ、自動的に出動部隊を編成します。
- 出動指令 管轄消防署へ指令情報や指令書を発令します。災害規模に応じて消防団等関係機関に順次メールにより指令情報を送ります。
- 出動 管轄消防署の車両が出動します。

◆指令システムを支える主要機器

指令装置 通常時119番通報を9席(最大36席)で受け付けします。外国人からの通報は多言語通訳サービスで対応します。

NET119、Fax119 音声通報が困難な方のために、スマートフォンやFaxからの119番通報の受け付けをするシステムです。(※事前の登録が必要となります。)

映像通報システム 通報者のスマートフォンのカメラ機能を利用することで現場映像や位置情報等が指令センターで確認できる機能です。
また、通報者に対し適切な口頭指導が行えるなど、より効果的な消防・救急活動が可能となっています。
(※映像送信に伴う通信料金は通報者側にかかります。)

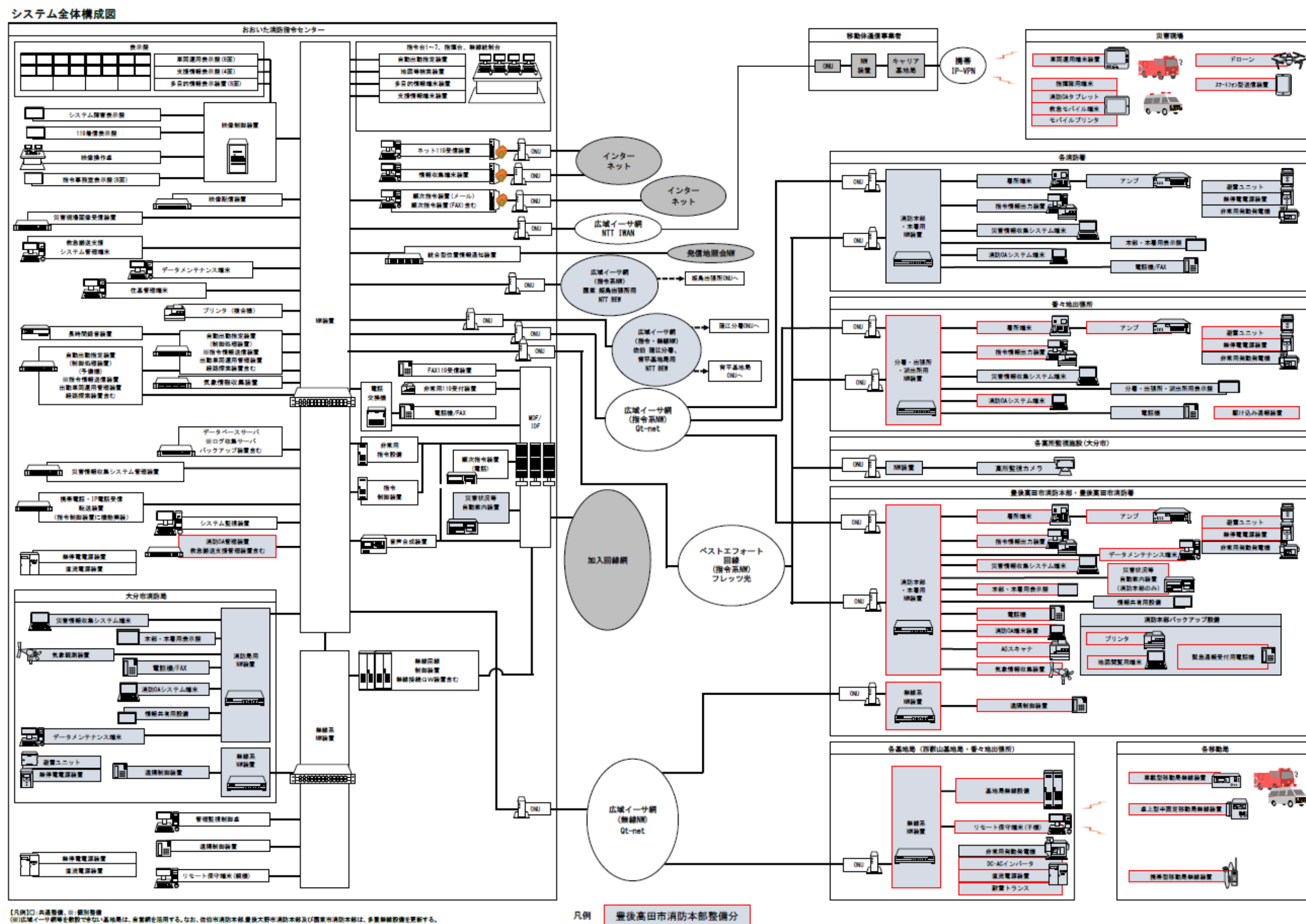
119 番通報ヘルプ機能 災害場所の特定が難しい場合は、通報者・指令員・管轄署員の3者間で通話を行い、災害地点の特定に活用します。

多機能型液晶表示板 55 インチの液晶ディスプレイを 24 面設置し、各消防署の車両状況や災害件数、119 番通報着信情報、気象状況、現場映像等、指令管制業務を支援する様々な情報を拡大・分割して表示します。

現場映像伝送システム 専用カメラやドローンで撮影した災害現場の映像をリアルタイムで指令センターと管轄消防署に送信することで災害状況を詳細に把握し、現場支援に活用します。

119 番通報分散受付 何らかの事情により、119 番通報が指令センターで受けできなくなった場合は、受け先を各消防署に切り替えます。
各消防署は専用端末を使用して、119 番通報を受け、指令の発令や車両運用状況等を把握しながら、業務を続けます。

(5) おおいた消防指令センターシステム全体構成図



2-6 消防予算

(1) 消防予算と一般会計予算との比較

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般会計予算	14,998,160	14,954,705	16,985,755	17,017,911	18,826,023
消防予算	554,014	495,570	509,868	551,075	767,258
消防予算の割合	3.69%	3.31%	3.00%	3.23%	4.08%

(2) 消防予算の細目

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
常備消防費	444,425	389,625	401,745	429,933	653,200
非常備消防費	70,314	71,286	78,045	83,666	82,800
消防施設費	24,992	15,791	16,099	17,042	18,676
水 防 費	3	3	3	3	3
災害対策費	14,280	18,865	13,976	20,431	12,579
合 計	554,014	495,570	509,868	551,075	767,258

(3) 消防予算に対する比較

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人口1人当たりの 消防予算	24,684円	22,330円	23,048円	24,165円	35,393円
	22,444人	22,193人	22,122人	22,804人	21,678人
1世帯当たりの 消防予算	50,771円	45,950円	46,520円	50,102円	69,216円
	10,912世帯	10,785世帯	10,960世帯	10,999世帯	11,085世帯

2-7 職員配置表（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

階 級 所 属		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	次 長								
	総 務 課		1 (4)	(1)		(1)	(3)	4	5 (9)
	警 防 課		1 (10)	(3)	(4)	(2)	(6)		1 (25)
	予 防 課		2 (1)	1 (3)					3 (4)
	休 職 者								
	計	1	4 (15)	1 (7)	(4)	(3)	(9)	4	10 (38)
消 防 署	署 長		(1)						(1)
	副 署 長		1						1
	第 1 小 隊		4	2	2	1	2		11
	第 2 小 隊		5	3	1		4		13
	第 3 小 隊		5	2	1	2	3		13
	新 採 用						1		1
	休 職 者								
計			15 (1)	7	4	3	10		39 (1)
合 計		1	19 (16)	8 (7)	4 (4)	3 (3)	10 (9)	4	49 (39)

※（ ）は、本部内又は署内の兼務

※消防学校や防災航空隊等の出向中の職員は、その他職員（総務課）とする。

※会計年度任用職員は除く。

※副署長は第1小隊長である（副署長欄へ記入）

2-8 職員の定数及び階級別実員（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

年 度 \ 区 分	定数	実員	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	会計任用職員 年度員	その他職員
令和2年度	50	49	1	12	12	0	10	12	2	2
令和3年度	50	49	1	13	12	0	10	12	3	3
令和4年度	50	48	1	16	9	4	7	8	3	3
令和5年度	50	49	1	20	8	4	4	10	2	2
令和6年度	50	50	1	19	8	4	3	10	1	4

※消防学校や防災航空隊等の出向中の職員は、その他職員（総務課）とする。

2-9 職員勤続年数表（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

年 数 \ 階級別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	会計任用職員 年度員	その他職員	計
3年未満						2		2	4
3年以上 ～5年未満						2	(1)		2 (1)
5年以上 ～10年未満						6	(1)		6 (1)
10年以上 ～15年未満				1	2			1	4
15年以上 ～20年未満		1	7	3	1			1	13
20年以上 ～25年未満		3	1						4
25年以上 ～30年未満	1	9							10
30年以上		6							6
計	1	19	8	4	3	10	(2)	4	49 (2)

※（ ）は、会計年度任用職員である。

消防学校や防災航空隊等の出向中の職員は、その他職員とする。

2-10 職員年齢構成表（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

階級別 年 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
20 歳未満								
20 歳以上 ～25 歳未満						5	1	6
25 歳以上 ～30 歳未満						5		5
30 歳以上 ～35 歳未満				2	3		2	7
35 歳以上 ～40 歳未満			4	2				6
40 歳以上 ～45 歳未満			4					4
45 歳以上 ～50 歳未満		9						9
50 歳以上	1	10					1 (2)	12 (2)
計	1	19	8	4	3	10	4 (2)	49 (2)

※（ ）は、会計年度任用職員である。出向中職員は、その他職員とする。

2-11 各種資格取得状況（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

資 格 \ 階 級			消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
			1	16	9	4	7	8	6	51
自動車 運転免許	大 型	1 種	1	12	7	1	3	1	1	26
		特殊		3	2	1	1			7
	中 型					3	4	4	1	12
	普 通	8t 限定	1	16	9	2			4	32
		5t 限定				2	7	9	2	20
	二 輪	大型		3	3		1	1		8
		普通 400	1	8	3	1	1			14
		普通 125								
危険物 取扱者	乙 種	第 1 類	1	1	2		1			5
		第 2 類		1	2		1			4
		第 3 類		1	2					3
		第 4 類	1	2	3	2				8
		第 5 類	1	1	2		1			5
		第 6 類		1	2		1			4
消 防 設備士	乙 種	第 6 類	1	1	2	2	1			7
救急救 助資格	救 急 I 課 程			5					2	7
	救 急 II 課 程			5					2	7
	救 急 標 準 課 程		1	11	6	3	6		1	28

資 格 \ 階 級			消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
救 急 救 助 資 格	救助資格			13	6	3	3	1	2	28
	救急救命士			6	3	1	2	7	2	23
	救 急 救命士	気管挿管		6	1	1		1	1	10
		薬剤投与		6	3	1	2	6	2	20
		静脈路確保		6	3	1	2	6	1	19
予 防 技 術 資 格	防火査察		1	2	3	2				8
	消防設備		1	2	2	2				7
	危険物		1	2	2	2				7
無 関 係	陸上特殊 無線技師	第 2 級	1	15	5		1		2	24
		第 3 級		1	4	4	7	9	2	27
	アマチ ュア無 線技師	1 級								
		2 級								
		3 級								
		4 級		2	2				1	5
	クレーン									
特 殊 技 能	小型移動クレーン運 転技能			11	6	4	6	2	1	30
	玉掛技能免許			11	6	4	6	2	1	30
	巻上機運転免許			11	6	4	6	2	1	30
	フォークリフト運転 技術士									
小型船舶操縦士		1 級		1	2		1			4
		2 級	1	4		1	1	3	1	11
潜水士免許			1	16	8	4	7	8	3	47
自動車整備士										
第 1 種衛生管理者				1					1	2
ガス溶接技能士				2	1					3
酸素欠乏危険作業主任者				10	8		1		1	20
防災士				9	2				3	14
着衣泳指導員				2						2

2-12 消防職員表彰受賞状況（令和7年3月31日現在）

（単位：人）

区 別 \ 年 度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
消防庁長官	功労章					
	永年勤続功労章					1
大分県知事	功労章	2			1	1
	永年勤続功労章	1	1	1		
日本消防協会会長	功績章			1		
	精績章					
	勤続章					2
	永年勤続功労章					
全国消防長会長	20年勤続					
	30年勤続					6
全国消防協会	優良消防職員表彰					
大分県消防協会会長	20年勤続		3			
	25年勤続	6	3	1		
	30年勤続					2
	35年勤続					2
合 計		9	7	3	1	14

2-13 職員の消防学校・消防大学校等入校状況

(単位：人)

区 分 \ 年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
消防大学校	新任消防長科					
	警防科					
救急救命 九州研修所	薬剤投与追加講習					
	救急救命士養成					
	指導救命士養成			1		
大 分 県 消 防 学 校	初任教育	2	2			1
	専 科 教 育	警防科	2		1	
		特殊災害科	2		2	
		予防査察科	1	1		1
		火災調査科	1		1	
		救急科				
		救助科	2	2		2
	幹 部 教 育	初級幹部科				
		中級幹部科				
		上級幹部科				
	特 別 教 育	特殊技能講習	3	3	3	3
		訓練礼式指導者研修				
		水災防ぎょ研修				
		気管挿管講習				
		救急救命士 再教育研修			2	4
		実火災体験研修			2	2
		消防操法指導者研修				3
	救急救命士の処置範囲拡大 に係る追加講習					

防 予



3 予 防

3-1 防火対象物の現況

(延べ面積 150 ㎡以上 令和 7 年 3 月 31 日現在)

項別		用 途	施設数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場館	1
	ロ	公会堂又は集会場	20
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場又はダンスホール	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合、料理店等	
	ロ	飲食店	22
4		百貨店、店舗又は展示場等	34
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	8
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	82
6	イ	病院、診療所又は助産所	13
	ロ	養護老人ホーム、有料老人ホーム等	10
	ハ	老人デイサービス、保育所等	34
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2
7		小、中、高等学校等	40
8		図書館、博物館、美術館等	6
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	1
11		神社、寺院、教会等	60
12	イ	工場又は作業場	106
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	81
15		前各号に該当しない事業場	104
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	63
	ロ	16 項イ以外の複合用途防火対象物	12
16 の 2		地下街	
16 の 3		建築物の地階等	
17		重要文化財等	
18		延長 50 メートル以上のアーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
計			703

3-2 消防用設備等設置件数

(単位：件)

年 度 区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
消 火 設 備	消火器	5	17	24	9	9
	屋内消火栓設備	2	2	2	1	1
	屋外消火栓設備		1	2	1	
	スプリンクラー設備		2		1	
	泡消火設備					
	粉末消火設備				1	
	パッケージ型消火設備	1		1		
	パッケージ型自動消火設備					
警 報 設 備	自動火災報知設備	14	21	22	19	14
	非常警報設備			3		2
	ガス漏れ火災警報設備					
	火災通報装置		1	1	1	2
	漏電火災警報器					
避 難 設 備	避難器具		1			1
	誘導灯	4	9	7	10	4
消 防 用 設 備 等	連結送水管					
	排煙設備					

3-3 予防関係届出処理状況

(単位：件)

区 分 \ 年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
消 防 法 関 係	防火管理者選（解）任届	25	28	33	31	29
	消防計画作成（変更）届	34	33	37	38	32
	消防用設備等着工届	10	24	30	9	11
	消防用設備等設置届	26	58	64	44	31
	消防用設備等 点検結果報告書	280	277	300	216	229
	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届	13	13	4	5	3
火 災 予 防 条 例 関 係	防火対象物使用開始届	15	31	34	21	18
	炉、かまど、ボイラー等設置届	3	3	9	7	4
	変電、燃料電池発電、発電蓄電池設備設置届	3	21	13	12	7
	ネオン管灯設備設置届					
	水素ガスを充てんする気球の設置届					
	少量危険物貯蔵取扱届出書	8	11	14	8	3
	催物開催届出書					
計		417	499	538	391	367

３－４ 防火管理の状況（令和７年３月３１日現在）

（単位：件）

項別		用 途	法 第 ８ 条 対象物	選任済 対象物	消防計 画届出
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場館			
	ロ	公会堂又は集会場	17	16	16
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
3	イ	待合、料理店等			
	ロ	飲食店	11	6	6
4		百貨店、店舗又は展示場等	29	25	25
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3	3	3
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	8	5	5
6	イ	病院、診療所又は助産所	3	3	3
	ロ	養護老人ホーム、有料老人ホーム等	10	10	10
	ハ	老人デイサービス、保育所等	15	15	15
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	1	1
7		小、中、高等学校等	10	10	10
8		図書館、博物館、美術館等	4	2	2
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等			
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	2	2
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場			
11		神社、寺院、教会等	3	3	2
12	イ	工場又は作業場	10	10	10
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場			
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫			
15		前各号に該当しない事業場	14	12	10
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	34	27	27
	ロ	16 項イ以外の複合用途防火対象物	4	4	4
16 の 2		地下街			
16 の 3		建築物の地階等			
17		重要文化財等			
18		延長 50 メートル以上のアーケード			
19		市町村長の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			
計			179	155	152

3－5 建築確認用途別申請内訳 防火対象物数（300㎡以上）

（単位：件）

年 度 用 途	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
映画館・観覧場等					
公会堂・集会場					
遊技場等					
飲食店					
物品販売店舗					
旅館・ホテル			1	1	
共同住宅	1			1	
病院・診療所		1	1	1	
老人福祉施設等		2		1	1
学校					
展示場					
公衆浴場					
神社・寺院・教会					
工場・作業場	2		4	2	1
車庫・駐車場					
倉庫	2	2	2	1	3
事務所等		7	1		1
複合用途防火対象物			1		1
専用住宅		2	5	4	
併用住宅					
その他の工作物					
計	5	14	15	11	7

３－６ 防火対象物の立入検査実施状況（令和６年度中）

（単位：件）

項別		用 途	件 数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場館	1
	ロ	公会堂又は集会場	5
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場又はダンスホール	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
3	イ	待合、料理店等	
	ロ	飲食店	7
4		百貨店、店舗又は展示場等	21
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	21
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	2
6	イ	病院、診療所又は助産所	1
	ロ	養護老人ホーム、有料老人ホーム等	3
	ハ	老人デイサービス、保育所等	18
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	
7		小、中、高等学校等	5
8		図書館、博物館、美術館等	
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	
11		神社、寺院、教会等	
12	イ	工場又は作業場	6
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫又は駐車場	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14		倉庫	6
15		前各号に該当しない事業場	7
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	16
	ロ	16 項イ以外の複合用途防火対象物	1
16 の 2		地下街	
16 の 3		建築物の地階等	
17		重要文化財等	
18		延長 50 メートル以上のアーケード	
19		市町村長の指定する山林	
20		総務省令で定める舟車	
計			121

3-7 危険物施設数と倍数（令和7年3月31日現在）

（単位：件）

施設区分 倍数・類別		製造所	貯蔵所								取扱所						合計
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	小計	
倍数別	5 倍以下		4	6	1	10	10		1	32					6	6	38
	5 倍超 10 倍以下		3	7		2				12	3				4	7	19
	10 倍超 50 倍以下		1	2		3	2			8	8				5	13	21
	50 倍超 100 倍以下					1				1	9				2	11	12
	100 倍超 150 倍以下										3					3	3
	150 倍超 200 倍以下										3					3	3
	200 倍超 1,000 倍以下										2					2	2
	1,000 倍超 5,000 倍以下																
	5,000 倍超																
	小計		8	15	1	16	12		1	53	28				17	45	98
類別	単独	第1類															
		第2類															
		第3類															
	独	第4類	8	15	1	16	12		1	53	28				16	44	97
		第5類															
		第6類															
	混在														1	1	1
合計			8	15	1	16	12		1	53	28				17	45	98

３－８ 危険物施設数の推移

(単位：件)

施設区分 \ 年度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	8	7	7	8	8
	屋外タンク貯蔵所	17	16	15	15	15
	屋内タンク貯蔵所	1	1	1	1	1
	地下タンク貯蔵所	17	17	16	16	16
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	11	11	11	12	12
	屋 外 貯 蔵 所	1	1	1	1	1
	小 計	55	53	51	53	53
取 扱 所	給 油 取 扱 所	29	29	29	29	28
	第一種販売取扱所					
	第二種販売取扱所					
	移 送 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所	19	18	17	17	17
	小 計	48	47	46	46	45
合 計		103	100	97	99	98

3-9 危険物規制許認可事務処理状況、危険物製造所等の 手数料収入状況

(1) 危険物規制許認可事務処理状況（令和6年度中）

（単位：件）

施設区分		申請区分	設 許	置 可	変 更 許	更 可	完成検査 前 検 査	完成検査		仮使用 承 認
								設置	変更	
貯 蔵 所	屋内貯蔵所									
	屋外タンク貯蔵所									
	屋内タンク貯蔵所									
	地下タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所		1					1		
	屋外貯蔵所									
	小 計		1					1		
取 扱 所	給油取扱所				1				1	1
	第一種販売取扱所									
	一般取扱所				10				12	10
	小 計				11				13	11
合 計			1		11			1	13	11

(2) 危険物製造所等の手数料収入状況（令和6年度中）

（単位：千円）

施設区分		申請区分	設置 許可	変更 許可	完成検査 前 検 査	完成検査		仮使用 承 認	仮貯蔵 仮取扱	計
						設置	変更			
貯 蔵 所	屋内貯蔵所									
	屋外タンク貯蔵所									
	屋内タンク貯蔵所									
	地下タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所		26			13				39
	屋外貯蔵所									
	小 計		26			13				39
取 扱 所	給油取扱所			26			13	5.4		44.4
	第一種販売取扱所									
	一般取扱所			333.5			154.0	70.2		557.7
	小 計			359.5			167.0	75.6		602.1
合 計			26	359.5		13	167.0	75.6		641.1

3-10 危険物関係申請・届出受理状況

(単位：件)

年 度 区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
設置許可申請				2	1
変更許可申請	10	17	21	10	14
完成検査申請	7	20	21	11	13
仮使用承認申請	10	17	18	10	14
仮貯蔵仮取扱申請					
譲渡引渡届					
種類数量変更届	1	2	4	2	5
保安監督者選任解任届	3	6	5	6	3
廃止届		3	3		2
計	31	65	72	41	52

3-11 危険物施設の立入検査実施状況（令和6年度中）

（単位：件）

施 設 区 分		件 数
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	6
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	6
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	8
	屋 外 貯 蔵 所	1
	小 計	23
取 扱 所	給 油 取 扱 所	14
	第 一 種 販 売 取 扱 所	
	一 般 取 扱 所	9
	小 計	23
合 計		46

警 防



4 警 防

4－1 消防車両の配置状況

(令和7年3月31日現在)

種 類	呼 称 名	メーカー	種 別	本 部			消防署	
				総 務 課	警 防 課	予 防 課	本 署	香々地出張所
消防車	たかしょう1	日野 レンジャー	水槽付消防車				○	
	たかしょう2	日野 デュトロ	災害対応特殊 ポンプ自動車				○	
	たかしょう3	日野 レンジャー	水槽付消防車				○	
	たかしょう4	日野 レンジャー	救助工作車				○	
	たかしょう5	トヨタ トヨエース	積載車					○
救急車	たかきゅう1	トヨタ ハイエース	高規格				○	
	たかきゅう2	トヨタ ハイエース	高規格				○	
	たかきゅう3	ニッサン ハイエース	高規格					○
その他	たかしょう6	ニッサン サファリ	査察車			○		
	たかしょう7	ニッサン バネット	広報車	○				
	たかしょう8	マツダ ボンゴ	消防団 活動車	○				
	たかしょう9	トヨタ ハイエース	多目的輸送車		○			
	ストッピー君	スズキ ジムニー	広報用 ミニ消防車			○		
	—	三菱 デリカ	防災活動車	○				

4－2 通信設備一覧

(令和7年3月31日現在)

種 別	本部・署（香々地出張所含む）
災害弱者緊急通報システム	1 回線
一般加入電話	本 部・署 22－3108（4 回線） 香々地出張所 54－3995、23－2822
ファクシミリ	本 部・署 22－3542 香々地出張所 23－2823
聾啞者専用ファクシミリ 一式	24－4119
衛星携帯電話	870－76100289
市民案内用電話	0800-200-5388

4-3 おおいた消防指令センターシステム（個別整備分）

（１）装置等整備状況

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

装 置 名	器 具 名	備 考
指令装置	自動出動指定装置 署所端末	
表示板	本部・本署用表示盤	55 型 43 型 表示板用端末
指令情報伝送装置	指令情報出力装置 ディスプレイ プリンタ	
気象情報収集装置		
災害状況等自動案内装置		
出動車両運用管理装置	車両運用端末装置（A V M）	
電源装置	無停電電源装置	
消防ネットワーク設備	本部・本署用 出張所用	
消防 O A システム管理システム	消防 O A 管理装置 消防 O A 端末装置	
救急搬送支援システム	端末装置	
指揮支援システム	指揮隊用端末	
災害現場画像伝送装置	送信装置	ドローン・ス マホ型送信装置
災害情報収集システム	端末装置	
構内電話交換設備	電話交換機 I P 電話機	
消防本部バックアップ設備	緊急通報受付用電話機 地図等閲覧端末 プリンタ	
庁内放送設備	アンプ	
駆け込み通報装置		出張所屋外
デジタル無線設備	共同指令センター用設備 基地局用設備 基地局設備 消防救急デジタル無線ネット ワーク	

（２）総事業費 2 2 9 , 4 6 6 , 6 0 0 円

4－4 消防無線局一覧

(令和7年3月31日現在)

識 別 番 号	所在地	無線局				
			活動波 1	活動波 2	主運用波	統制波
たかしょうほんぶ	本 部	基地局	○	○		
たかしょうさいえい	小田原西叡山	基地局	○	○	○	○
たかしょうかかぢ	香々地出張所	基地局	○	○		
たかしょうほんぶ	本 部	移動局	○	○	○	○
たかしょうかかぢ	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
た か き ゆ う 1	本 部	移動局	○	○	○	○
た か き ゆ う 2	本 部	移動局	○	○	○	○
た か き ゆ う 3	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 1	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 2	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 3	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 4	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 6	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 7	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 8	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 9	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 1	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 2	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 3	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 4	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 5	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 6	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 7	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 8	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 5 9	本 部	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 6 0	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
た か し ょ う 6 1	香々地出張所	移動局	○	○	○	○

識 別 番 号	所在地	無線局	400MHz帯アナログ		
			活動波 1・2	九共波 1・2・3	防災相互波
しよかつたかだ 1	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 2	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 3	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 4	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 5	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 6	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 7	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 8	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 9	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 10	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 11	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 12	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 13	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 14	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 15	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 16	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 17	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 18	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 19	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 20	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 21	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 22	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 23	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 24	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 25	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 26	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 27	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 28	本 部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 29	香々地出張所	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 30	香々地出張所	移動局	○	○	○
しよかつたかだ 31	香々地出張所	移動局	○	○	○

4－5 消防・救急資機材の現況

(令和7年3月31日現在)

放水器具	クールファイターノズル	1	救急器具	バッグバルブマスク	3
	クアドラノズル	4		患者監視装置	3
	ウルティマティックノズル	1		モバイル12誘導心電図伝送システム	3
	消防ホース 40mm	14		人工呼吸器 (メデュマットイージー)	2
	消防ホース 50mm	73		〃 (アンサー)	1
	消防ホース 65mm	93		自動心臓マッサージ器 (LUCUS)	3
	ジェットシューター	13		レサシアン	17
	ウォーターチャージャー	2		静脈路確保訓練用資機材	2
	泡プロパック	1		気道管理トレーナー 一式	2
	泡消火薬剤	60L		血糖測定器	3
隊員保護具	空気呼吸器	12	救急器具	マジックギプスセット	3
	安全帯	9		パルスオキシメーター	3
	耐熱服	2		ショックパンツ	3
	蜂防護服	2		消毒機 (シャットノクサス)	2
救急器具	布担架	3		高度救命処置訓練人形	3
	スクープストレッチャー	3		携帯電話 (救急用)	3
	のう盆	3		骨伝導イヤホン	3
	血圧計	6		半自動体外式除細動器 (AED-3151)	1
	聴診器	3		〃 (TEC-2603)	2
	副子	14		携帯酸素	3
	レスキューシート	3		蒸気滅菌器	2
	吸引器 (LSU 4000)	3		A E D (FR2・FR3 各1)	2
	バックボード	3		A E D トレーナー	9
	遠隔画像伝送システム	3		静脈可視化装置 (スタッドベイン)	2

4－6 消防水利の現況（令和7年3月31日現在）

（1）消火栓

（単位：基）

公 設	私 設	合 計
304	2	306

（2）防火水槽

（単位：基）

100 m ³ 以上	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	私 設	合 計
0	2	338	12	7	359

地区別 防火水槽別		高 地 区	真 玉 区	香々地区 地 区	合 計
防 火 水 槽	100 m ³ 以上				
	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	0	2		2
	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	153	93	99	345
	40 m ³ 未満	0	9	3	12
	計	153	104	102	359
プ ー ル		6	2	3	11
合 計		159	106	105	370

4－7 警防関係各種届出事務処理状況（令和6年度）

（単位：件）

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
消防訓練実施計画届出書	2	18	7	6	5	7	11	26	20	4	7	22	135
露店等の開設届出書	2	1	1	2	4	1	4	2				3	20
道路工事（通行止）届出書	5		1	8	15	3			1	2	2	4	41
火災と紛らわしい煙又は火炎を発生のおそれのある行為の届出書	10	14	17	7	13	10	7	7	10	17	16	14	142
煙火の打上又は仕掛届出書				1	2		2	1					6

4－8 相互応援協定・支援協定締結状況

【相互応援協定】

令和7年3月31日現在

協定名称	締結市町村名等	締結の状況	締結年月日
大分県常備消防相互応援協定	大分県下14消防本部	火災・救急・救助・その他の災害	平成24年3月30日
大分県防災ヘリコプター応援協定	大分県・大分県下14消防本部	火災・救急・救助・その他の災害	平成9年6月1日

火災統計



5 火災統計

5－1 火災の概要、損害額の推移

(1) 火災の概要

(単位：件)

種別 \ 年別	令和2年	令和3年	令和4年度	令和5年	令和6年
建 物	8	2	6	7	4
林 野					
車 両			1	1	
その他		3	3	6	
計	8	5	10	14	4

(2) 損害額の推移

(単位：千円)

種別 \ 年別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
建 物	8,291	13,232	28,860	4,268	1,153
林 野					
車 両			482	400	
その他		4,300	39		
計	8,291	13,662	29,381	4,668	1,153

５－２ 火災による死者の状況、火災による負傷者の状況

（１）火災による死者の状況

（単位：人）

種別 \ 年別	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
建 物					
林 野					
車 両					
その他					
計					

（２）火災による負傷者の状況

（単位：人）

種別 \ 年別	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
建 物	４	１	１	２	
林 野					
車 両					
その他					
計	４	１	１	２	０

5－3 出火原因別火災発生状況（令和6年中）

（単位：件）

要因別		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
原因別	たばこ														
	こんろ														
	風呂・かまど														
	電気配線				2										2
	たき火										1				1
	放火(放火の疑い)														
	火遊び														
	ストーブ等														
	灯明・ロウソク等														
	乾燥機等														
	花火														
	車両等関係														
	落雷														
	その他						1								1
	不明・調査中														
	計				2		1				1				4
火災種別	建 物				2		1				1				4
	林 野														
	車 両														
	船 舶														
	その他														
	計				2		1				1				4

5－4 用途別・月別火災発生状況（令和6年中）

（単位：件数）

用 途 別		月 別												計	損害額 (千円)
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
建 物	専 用 住 宅				1									1	1,124
	併 用 住 宅														
	共 同 住 宅														
	飲 食 店														
	店 舗														
	旅館・ホテル														
	病 院														
	福 祉 施 設														
	学 校														
	工 場 ・ 作 業 場				1		1							2	25
	倉庫・納屋										1			1	4
	事 務 所														
	特 定 複 合 用 途														
	非特定複合 用 途														
	そ の 他														
林 野															
車 両															
船 舶															
そ の 他															
計					2		1				1			4	1,153

5－5 種別・時間別火災発生状況（令和6年中）

（単位：件数）

種別 時間	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	計
0 ～ 2	1					1
2 ～ 4						
4 ～ 6						
6 ～ 8						
8 ～ 10						
10 ～ 12						
12 ～ 14						
14 ～ 16	2					2
16 ～ 18	1					1
18 ～ 20						
20 ～ 22						
22 ～ 24						
不 明						
計	4					4

5－6 曜日別火災発生状況（令和6年中）

（単位：件）

種別 曜日	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	計
日	2					2
月						
火						
水	1					1
木	1					1
金						
土						
不明						
計	4					4

救急・救助統計



6 救急・救助統計

6－1 救急出動の推移、事故種別発生状況

(1) 救急出動の推移

(単位：件)

年 別	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
出動件数	1,289	1,175	1,447	1,517	1,532

(2) 事故種別発生状況

(単位：件)

年	区 分	計	救 急 事 故 種 別										不 搬 送	
			火 災	自然 災害	水 難	交通事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	その他				
										加害	自損 行為	急病		その他
2	出動件数	1,289	2	0	2	70	5	4	243	963				79
	搬送人員	1,219	2	0	2	70	5	4	237	899				
3	出動件数	1,175	2	0	0	65	10	9	191	898				69
	搬送人員	1,107	1	0	0	62	10	9	184	841				
4	出動件数	1,447	1	0	0	67	14	2	266	1,097				102
	搬送人員	1,350	0	0	0	64	14	2	255	1,015				
5	出動件数	1,517	2	0	3	54	11	5	262	1,180				106
	搬送人員	1,411	0	0	1	51	9	5	248	1,097				
6	出動件数	1,532	0	0	2	76	19	4	260	1,166				92
	搬送人員	1,446	0	0	1	77	18	5	262	1,083				

6－2 曜日別、月別出動件数（令和6年中）

（単位：件）

事故 種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他				計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他	
曜 日 別	月				12	4		36	1		155	31			1	240
	火			1	12	1	1	40	1		111	32			1	200
	水				8	6		41	1		115	29				200
	木				14	3		32	1	1	133	42				226
	金				10	1		29	1	1	126	39			2	209
	土			1	11	4	2	40			163	30				251
	日				9	0	1	42			135	18			1	206
計				2	76	19	4	260	5	2	938	221			5	1532
月 別	1				4			22			92	29				148
	2				5			13	1		65	14			1	99
	3				7			25			73	13				118
	4				13	4		15	1		58	18				109
	5				4	3	1	22		2	70	21				123
	6				6	2		15			66	17				106
	7				5	3	1	29	2		87	20				147
	8			1	4			27			108	24			2	166
	9			1	4	1	1	21			78	14				120
	10				8	2		21			74	25			1	131
	11				8	1	1	20			62	17				109
	12				8	3		30	1		104	9			1	156

6－3 搬送人員（令和6年中）

（単位：件）

事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
搬送人員			1	77	18	5	262	5		857	221	1446

6－4 時間別出動件数（令和6年中）

（単位：件）

時間別	出動件数	事故種別													
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他
計	1532			2	76	19	4	260	5	2	938	221			5
0~2	71				1	1		12			54	3			
2~4	39				1			7			25	6			
4~6	44					1		6			35	1			1
6~8	108				4			21			79	4			
8~10	206				8	2	2	42		1	118	32			1
10~12	204				14	3		39			101	47			
12~14	176			1	10	2		28	1	1	89	44			
14~16	181				10	6		22			112	30			1
16~18	158			1	15	4	1	26			90	20			1
18~20	154				5		1	26			105	16			1
20~22	119				7			20	2		78	12			
22~24	72				1			11	2		52	6			

6－5 傷病程度別搬送状況

(単位：件)

年別 程度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
死 亡	31	27	30	35	23
重 症	186	154	173	187	183
中 等 症	614	597	748	745	852
軽 症	388	328	398	444	387
そ の 他			1		1
計	1,219	1,106	1,350	1,411	1,446

※死 亡 初診時において、死亡が確認されたもの

※重 症 傷病の程度が3週間以上の入院を必要とするもの

※中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

※軽 症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの

※その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの

6－6 医療機関搬送件数（令和6年中）

(単位：件)

事故種別 医療機関		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
救急 告示 医療 機関	国 立	56	54	19	17	2	2	5	5	30	30
	公 立	165	164	93	92	10	10	12	12	50	50
	公 的	29	27	12	11			5	4	12	12
	私 病院	894	275	555	144	49	12	183	45	107	74
	的 診療所										
	計	1,145	521	679	264	61	24	205	66	200	167
その 他の 医療 機関	国 立	5	5	2	2					3	3
	公 立										
	公 的	1	1	1	1						
	私 病院	279	189	162	133	16	5	55	11	46	40
	的 診療所	15	13	13	12			2	1		
	計	301	209	178	148	16	5	57	12	50	44
その他の場所											
合 計		1,446	730	857	412	77	29	262	78	250	211

6－7 救急隊員の行った応急処置件数（令和6年中）

（単位：件）

事故種別 応急処置	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	計
止血	1	5	12	4	22
固定		14	13	4	31
人工呼吸	15		1	1	17
胸骨圧迫	8				8
心肺蘇生	26		3	3	32
酸素吸入	113	2	5	38	158
気道確保	34		4	3	41
保温	212	15	52	36	315
被覆	1	10	22	6	39
在宅酸素継続	1			3	4
除細動	6				6
静脈路確保	46		6	6	58
薬剤投与	21		2	2	25
その他の応急処置	12	1	1	2	16
血圧測定	824	74	753	244	1,395
血中酸素飽和度の測定	752	68	222	220	1,262
心電図	505	36	106	111	758
計	2,819	253	749	723	4,544

6－8 救急隊員の資格

（単位：人）

区分	資格等	救急救命士	救急標準課程及び救急課修了者	救急Ⅱ課程修了者	計
救急隊員	専 任				
	兼 任	20	19	2	41
そ の 他		1	4		5
計		21	23	2	46

6－9 応急手当普及啓発活動実施状況（令和6年中）

（単位：件）

講習 内容 署	応急手当 指導員		上級救命講習		普通救命講習		救命入門コース		一般救命講習	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
本 署					8	74			34	722

6－10 救助出動状況

（単位：件）

年度	件数	救助出動件数	救助活動件数	救助人員
令和2年		25	19	24
令和3年		27	26	31
令和4年		28	28	35
令和5年		23	20	26
令和6年		29	24	33

6－11 事故種別救助活動状況（令和6年中）

（単位：件）

種別 件数	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自然災害	機 械 等 による事故	建 物 等 による事故	ガ ス 及 び 酸 欠 事故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計
出動件数		16	3	4					13	36
活動件数		13	3	3					10	29
救助人員		19	3	4					13	39

6-12 地区別出動件数及び救助人員（令和6年中）

（単位：件）

事故種別 地区別		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 等 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計
高 田	出動件数	—	12	1	3	—	—	—	—	8	24
	活動件数	—	10	1	3	—	—	—	—	5	19
	救助人員	—	12	1	3	—	—	—	—	8	24
真 玉	出動件数	—	2	—	—	—	—	—	—	1	3
	活動件数	—	1	—	—	—	—	—	—	1	2
	救助人員	—	5	—	—	—	—	—	—	1	6
香 々 地	出動件数	—	2	2	1	—	—	—	—	4	9
	活動件数	—	2	2	0	—	—	—	—	4	8
	救助人員	—	2	2	1	—	—	—	—	4	9
合 計	出動件数	—	16	3	4	—	—	—	—	13	36
	活動件数	—	13	3	3	—	—	—	—	10	29
	救助人員	—	19	3	4	—	—	—	—	13	39

6-13 月別出動件数及び救助人員（令和6年中）

（単位：件）

種別 件数		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
1月	出動件数		1							5	6
	活動件数									4	4
	救助人員									5	5
2月	出動件数		2								2
	活動件数		2								2
	救助人員		2								2
3月	出動件数		3							1	4
	活動件数		3							1	4
	救助人員		3							1	4
4月	出動件数		4							1	5
	活動件数		3							1	4
	救助人員		7							1	8
5月	出動件数		1							1	2
	活動件数		1								1
	救助人員		1							1	2
6月	出動件数		1							1	2
	活動件数									1	1
	救助人員		2							1	3
7月	出動件数										
	活動件数										
	救助人員										
8月	出動件数		1	2	4					1	8
	活動件数		1	2	3						6
	救助人員		1	2	4					1	8
9月	出動件数			1						1	2
	活動件数			1						1	2
	救助人員			1						1	2
10月	出動件数		1								1
	活動件数		1								1
	救助人員		1								1
11月	出動件数									1	1
	活動件数									1	1
	救助人員									1	1
12月	出動件数		2							1	3
	活動件数		2							1	3
	救助人員		2							1	3
合計	出動件数		16	3	4					13	36
	活動件数		13	3	3					10	29
	救助人員		19	3	4					13	39

6-14 救助隊が使用する主な保有資機材

分類	品 名	員数	分類	品 名	員数
一般救助用器具	かぎ付はしご	1	山岳用	バスケット型担架	2
	三連はしご	2	重量物排除用器具	大型油圧式ジャッキ式	1
	空気式救助マット	1		可般式ウインチ	1
	救命索発射銃（水難兼用）	1		ワイヤーロープ	6
	救助用縛帯（サバイバースリング）	1		マット型空気ジャッキ式	1
	平担架	1	破壊用器具	大型油圧スプレッター	2
	ショートボード	1		万能斧	1
	ロープ	6		ハンマー	1
	カラビナ	20	測定用器具	酸素、可燃性ガス測定器	1
	滑車	5		有毒ガス測定器	1
切断用器具	エンジンカッター	2	呼吸保護用器具	空気呼吸器	5
	チェーンソー	2	隊員保護用器具	革手袋	5
	鉄線カッター	1		フルボディハーネス	6
	グラスソー	1		耐電手袋	3
	大型油圧切断機一式	2		防塵メガネ	5
	ガス溶断器一式	1		防塵マスク	5
水難救助用器具	救命胴衣	7		耐熱服	1
	フロートロープ	3	生物・科学テロ対応資機材	陽圧式化学防護服	2
	水中ライト	5		除染シャワー式	0
	救命浮環	2		除染剤散布器一式	0
	救命ボート一式	2		簡易型防護服	5
	船外機一式	1		被除染者用簡易服	0
	救命索発射銃	0			

6-15 救助隊の教育訓練（令和6年中）

区分 回数	体力錬成 訓練	ロープ 基本応用 訓練	結索救助 訓練	各種救助 器具取扱 訓練	各種救助 事象想定 訓練	その他 の訓練	計
実施延回数 (回)	230	100	30	60	30	10	460
実子延べ人 員(人)	1,150	500	150	300	150	40	2,290
実施延時間 (時間)	460	110	90	120	75	20	875

6-16-1 全国消防救助技術大会の出場状況

(単位：チーム、人)

種目 年度	ロープ ブリッジ 渡過	ロープ 登はん	はしご 登はん	ロープ 応用 登はん	ロープ ブリッジ 救出	ほふく 救出	技 術 訓 練	出 場 人 員
令和2年								
令和3年								
令和4年								
令和5年								
令和6年						1		3

6-16-2 大分県消防救助技術指導会の出場状況

(単位：チーム、人)

種目 年度	ロープ ブリッジ 渡過	ロープ 登はん	はしご 登はん	ロープ 応用 登はん	ロープ ブリッジ 救出	ほふく 救出	技 術 訓 練	出 場 人 員
令和2年			未 開 催					
令和3年			未 開 催					
令和4年						2		6
令和5年					1	2		10
令和6年					2	2		14

消 防 団

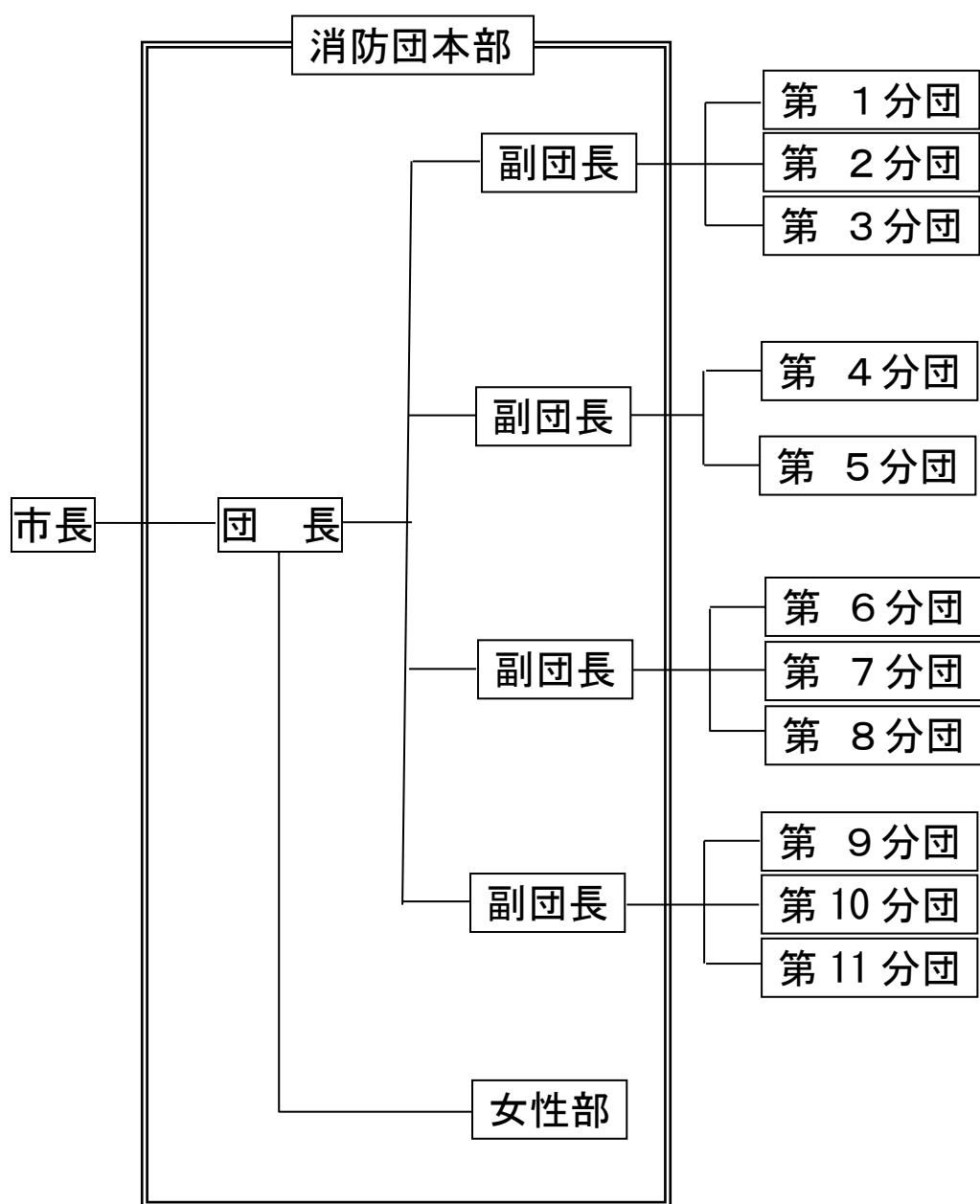


7 消防団

7-1 歴代消防団長

氏 名	在 職 期 間	備考
伊 藤 元 一	平成 17 年 3 月 31 日～ 平成 18 年 3 月 31 日	H13. 11. 1～ (旧豊後高田市)
中 村 寿 志	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 30 年 3 月 31 日	
嶋 川 岩 男	平成 30 年 4 月 1 日～ 至現在	

7-2 機構図・組織



7－3 名称・位置・管轄区域

名 称： 豊後高田市消防団
消防団本部： 豊後高田市御玉 147 番地

分 団 名	部 名	管 轄 区 域
第 1 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部	是永町・水取・本町・鍛冶屋町・浜町 金谷町・新町・今町・高田・界・来縄 水崎
第 2 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部	鼎・かなえ台・払田・美和・御玉 玉津・新栄
第 3 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部 第 7 部	森・佐野・小田原・田染横嶺・田染小 崎・田染真中・田染真木・田染平野 田染上野・田染相原・田染池部・田染 路
第 4 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部	一畑・加礼川・梅木・新城・長岩屋 松行・築地・荒尾・大力
第 5 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部	草地・呉崎
第 6 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部	中真玉・上真玉
第 7 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部	西真玉
第 8 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部	臼野
第 9 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部	香々地・見目
第 10 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部	羽根・堅来・小畑
第 11 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部	上香々地・夷
計	57 部	53 区域

7-4 消防団車両配備状況（令和7年3月31日現在）

（単位：台）

分団名	部	ポンプ 自動車	小型ポンプ 付積載車	分団名	部	ポンプ 自動車	小型ポンプ 付積載車
第1分団	第1部	1		第6分団	第3部		1
	第2部	1			第4部		1
	第3部		1		第5部		1
	第4部		1		第6部		1
第2分団	第1部	1		第7分団	第1部		1
	第2部		1		第2部		1
	第3部		1		第3部		1
	第4部		1		第4部		1
第3分団	第1部		1		第5部		1
	第2部		1	第8分団	第1部		1
	第3部		1		第2部		1
	第4部		1		第3部		1
	第5部		1		第4部		1
	第6部		1		第5部		1
	第7部		1	第9分団	第1部		1
第4分団	第1部		1		第2部		1
	第2部		1		第3部		1
	第3部		1		第4部		1
	第4部		1		第5部		1
	第5部		1	第10分団	第1部		1
	第6部		1		第2部		1
第5分団	第1部		1		第3部		1
	第2部		1		第4部		1
	第3部		1		第5部		1
	第4部		1		第6部		1
	第5部		1	第11分団	第1部		1
	第6部		1		第2部		1
第6分団	第1部		1		第3部		1
	第2部		1	合 計	57部	3	54

7-5 団員の定数及び実員数（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

階級 分団別 ／充足率	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部 100%	1	4			1	1	6	13
	1	4						5
第1分団 100%			1	1	4	12	32	50
			1	1	4	12	34	52
第2分団 100.0%			1	1	4	12	28	46
			1	1	4	12	28	46
第3分団 100%			1	1	7	21	40	70
			1	1	7	21	41	71
第4分団 90.3%			1	1	6	18	32	58
			1	1	6	18	36	62
第5分団 93.5%			1	1	6	18	34	60
			1	1	6	18	36	62
第6分団 80.3%			1	1	6	18	25	51
			1	1	6	18	35	61
第7分団 70.6%			1	1	5	15	14	36
			1	1	5	15	29	51
第8分団 94.2%			1	1	5	15	28	50
			1	1	5	15	30	52
第9分団 93.5%			1	1	5	15	36	58
			1	1	5	15	40	62
第10分団 78.1%			1	1	6	18	31	57
			1	1	6	18	47	73
第11分団 91.7%			1	1	3	9	19	33
			1	1	3	9	22	36
計 91.3%	1	4	11	11	58	172	325	582
	1	4	11	11	57	171	378	633

※上段は実員数、下段は定数を表す。

7－6 消防団別勤務年数表（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

勤務年 数分団別	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年以上	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 本 部	2	6					5	13
第 1 分 団	14	9	8	4	8	2	5	50
第 2 分 団	9	5	7	10	5	5	5	46
第 3 分 団	21	14	15	5	5	4	6	70
第 4 分 団	10	6	11	5	5	12	7	56
第 5 分 団	6	23	13	0	7	8	3	60
第 6 分 団	4	8	14	9	10	2	4	51
第 7 分 団	8	4	1	8	5	6	4	36
第 8 分 団	10	8	7	5	6	8	6	50
第 9 分 団	4	7	7	3	9	22	6	58
第 10 分 団	5	9	13	6	5	9	10	57
第 11 分 団	6	5	3	2	6	4	7	33
合 計	97	105	99	57	76	81	66	581

7－7 消防団員年齢表（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

階級 年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
18 歳以上 20 歳未満	0	0	0	0	0	0	0	1
20 歳以上 25 歳未満	0	0	0	0	0	0	9	9
25 歳以上 30 歳未満	0	0	0	0	0	5	15	20
30 歳以上 35 歳未満	0	0	0	0	1	7	27	35
35 歳以上 40 歳未満	0	0	0	0	6	22	38	66
40 歳以上 45 歳未満	0	0	0	0	9	33	42	84
45 歳以上 50 歳未満	0	0	1	2	11	38	59	111
50 歳以上 55 歳未満	0	0	1	2	12	36	57	108
55 歳以上 60 歳未満	0	0	1	1	6	16	32	56
60 歳以上 65 歳未満	0	2	4	5	10	7	28	56
65 歳以上	1	2	4	1	3	10	15	36
合 計	1	4	11	11	58	174	322	581
平 均 年 齢 （ 歳 ）	70	66	61.7	56.9	51.2	46.7	46.8	47.9

7－8 消防団員表彰受賞状況

(単位：人)

区 別 \ 年 度		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
叙勲（春・秋）	瑞 宝 双 光 章					
	瑞 宝 単 光 章	3		2	2	1
消防庁長官	功 勞 章					1
	永 年 勤 続 功 勞 章			2		6
大分県知事	功 勞 章					
	永 年 勤 続 功 勞 章	3	1	2	2	2
日本消防協会長	功 績 章	2	1	1	1	
	精 績 章	2			2	1
	勤 続 章	5	9	9	2	11
大分県消防協会長	特別功労章（1・2級）					
	35 年 勤 続 功 勞 章	5	4	7	6	3
	30 年 勤 続 功 勞 章	4	6	8	7	10
	25 年 勤 続 功 勞 章	15	17	18	16	21
	20 年 勤 続 功 勞 章	21	13	19	15	13
	感謝状(退団者)15年 以 上 功 勞 賞	10	16		28	14
豊後高田市市長表彰・ 豊後高田市消防協会 長表彰	15 年 勤 続 功 勞 章	12	1	17	19	9
	10 年 勤 続 功 勞 章	22	25	14	24	20
	感謝状（退団者）	10	15	13	19	13
豊後高田市消防団長表彰						6
合 計		114	108	112	143	131

7-9 消防団員の消防学校等入校状況

(単位：人)

区分 \ 年度			令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
消防団幹部候補中央特別研修(日本消防協会)							
基礎教育					2	1	1
専科教育	警防・機関科		2				
幹部教育	初級幹部科						
	指揮幹部科	現場指揮課程			2		
		分団指揮課程			1		
特別教育	操法科			5	5		6
	訓練礼式指導員養成科						
	ポンプ操法指導員養成科						
	女性消防団員研修(隔年)						
	現地教育訓練						
	一日入校						
	防災指導員養成科						
	火災防ぎょ研修						

7-10 階級別消防団員報酬 (令和6年4月1日現在)

(単位：円)

区分 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年額報酬	130,000	90,000	65,000	45,500	40,000	37,000	36,500
出勤報酬	水火災・その他の災害 日額 8,000 円 (4 時間未満の場合は 4,000 円)						
	行方不明者捜索 日額 8,000 円 (4 時間未満の場合は 4,000 円)						
	警 戒	1 回につき 3,000 円					
	訓 練	1 回につき 3,000 円					
	その他	1 回につき 3,000 円					

7－11 消防団相互応援協定締結状況

【相互応援協定】

令和 7 年 3 月 31 日現在

協定名称	締結市町村名等	締結の内容	締結年月日
大分県消防団相互応援協定	大分県下 14 市 3 町 1 村	市町村境界付近の火災や 大規模災害における応援 出動	平成 25 年 4 月 1 日

資料編



歴代全国統一防火標語 (昭和 55 年～令和 6 年)

暦 年	内 容
昭和 55 年	あなたです！ 火事を出すのも 防ぐのも
昭和 56 年	毎日が 防火デーです ぼくの家
昭和 57 年	火の用心 心で用心 目で用心
昭和 58 年	点検は 防火のはじまり しめくくり
昭和 59 年	“あとで” より “いま” が大切 火の始末
昭和 60 年	怖いのは 「消したつもり」と 「消えたはず」
昭和 61 年	防火の大役 あなたが主役
昭和 62 年	消えたかな！ 気になるあの火 もう一度
昭和 63 年	その火 その時 すぐ始末
平成 元年	おとなりに あげる安心 火の始末
平成 2 年	まず消そう 火への鈍感 無関心
平成 3 年	毎日が 火の元警報 発令中
平成 4 年	点検を 重ねて築く “火災ゼロ”
平成 5 年	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
平成 6 年	安心の 暮らしの中心 火の用心
平成 7 年	災害に 備えて日頃の 火の用心
平成 8 年	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
平成 9 年	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
平成 10 年	気をつけて はじめはすべて 小さな火
平成 11 年	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
平成 12 年	火をつけた あなたの責任 最後まで
平成 13 年	たしかめて。 火を消してから 次のこと
平成 14 年	消す心 置いてください 火のそばに
平成 15 年	その油断 火から炎へ 災いへ
平成 16 年	火は消した？ いつも心に きいてみて
平成 17 年	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
平成 18 年	消さないで あなたの心の 注意の火
平成 19 年	火は見てる あなたが離れる その時を
平成 20 年	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成 21 年	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
平成 22 年	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成 23 年	消したはず 決めつけしないで もう一度
平成 24 年	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成 25 年	消すまでは 心の警報 ON のまま
平成 26 年	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成 27 年	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成 28 年	消しましょう その火その時 その場所で
平成 29 年	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成 30 年	忘れてない？ サイフにスマホに火の確認
平成 31 年	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
令和 2 年	その火事を 防ぐあなたに 金メダル

令和３年	おうち時間 家族で点検 火の始末
令和４年	お出かけは マスク戸締り 火の用心
令和５年	火を消して 不安を消して つなぐ未来
令和６年	守りたい 未来があるから 火の用心

気象観測情報（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

* 雨量・温度・風速のデータは気象庁 HP より引用

1 雨量

（単位：mm）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総雨量	38.5	22.5	103.5	101.0	75.0	175.0	198.5	169.0	199.0	44.0	15.0	22.5	1163.5
日最大	30.5	11.5	50.5	22.5	39.0	47.0	109.5	67.5	72.0	21.0	7.5	15.0	

2 温度

（単位：℃）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
最高	13.6	14.8	23.2	27.1	31.0	35.6	35.8	36.0	33.7	31.9	25.4	15.5	
最低	-3.2	-3.6	-1.1	2.3	7.6	14.2	22.1	20.4	15.1	7.7	5.4	-0.6	
平均	5.1	4.5	10.8	15.1	19.2	23.7	27.4	28.4	24.8	18.2	14.8	6.4	16.5

3 風速

（単位：m）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
最大	16.4	16.9	14.1	15.5	12.3	12.6	11.0	12.3	19.9	14.8	14.3	21.9	
平均	3.1	4.3	3.0	2.6	2.7	2.7	2.7	2.2	3.1	3.0	3.1	4.7	3.1

緊急消防援助隊編成表

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

小隊名	任務	役職	人数
消火小隊	主として被災地における消火活動の実施	隊 長	1 人
		副隊長	1 人
		隊 員	3 人
特殊装備小隊 (水難救助小隊)	主として被災地における特別な装備を用いた消防活動の実施	隊 長	1 人
		副隊長	1 人
		隊 員	3 人
救急小隊	主として被災地において救急活動の実施	隊 長	1 人
		副隊長	1 人
		隊 員	1 人

A E D の設置状況①

公的施設（71箇所）

施設名	施設名
高田小学校	高田市民グラウンド
桂陽小学校	丘の公園スポーツ広場
河内小学校	健康交流センター花いろ
都甲小学校（戴星学園）	スパランド真玉
草地小学校	夷谷温泉
呉崎小学校	昭和ロマン蔵
田染小学校	玉津座銀鈴堂
真玉小学校	デイサービスセンター周防苑
臼野小学校	豊後高田市老人介護支援センター
香々地小学校	豊後高田警察署
三浦小学校	北部保健所豊後高田保健部
旧都甲小学校（武道場）	豊後高田簡易裁判所
高田中学校	市役所高田庁舎
河内中学校	市役所真玉庁舎（真玉公民館兼用）
田染中学校	市役所香々地庁舎（香々地公民館兼用）
真玉中学校	消防本部
香々地中学校	★夢いろ幼稚園
高田高等学校	★キラリいろ幼稚園
香々地青少年の家	★香々地保育所
中央公民館	★たかだ児童クラブ（高田小）
水崎公民館	★なかよし児童クラブ（桂陽小）
河内公民館	★たんぽぽ児童クラブ（旧河内幼稚園）
田染甲公民館	★田染っ子児童クラブ（旧田染幼稚園）
西都甲公民館	★都甲っ子児童クラブ（旧都甲幼稚園）
東都甲公民館	★わこう児童クラブ（旧呉崎幼稚園）
呉崎公民館	★またま児童クラブ（旧真玉幼稚園）
香々地公民館	★浦っ子児童クラブ（三浦小）
高田体育センター	★かがち児童クラブ（香々地小）
真玉体育センター	★花っ子ルーム
B & G海洋センター	★おひさまひろば
真玉市民グラウンド	豊後高田シルバー人材センター
香々地市民グラウンド	桂川ふれあいセンター

地域総合支援センター（どんぐり河内）	花っこルーム香々地
デイサービスセンターふれあい館	長崎鼻リゾートキャンプ場
香々地体育センター	真玉海岸観光交流拠点施設 令和6年追加
豊後高田市老人介護支援センター	

A E D の設置状況②

民間事業所等（52箇所）

事業所等名	事業所等名
★封戸保育園	特別養護老人ホーム真寿苑
★城台保育園	松成歯科医院
★和光保育園	サンクリニック
★河内保育園	草地公民館
★あすなろほいくえん（田染保育園）	香々地3区自主防災会
★真玉保育園	高島地区自主防災会
高田中央病院	臼野浜小林地区自主防災会
玄々堂高田病院	新町1地区自主防災会
せぐち内科	エーワン豊後高田店
みずのえ呼吸器内科クリニック	株式会社住理工九州
安部内科	株式会社サミットスチール大分工場
ながまつ内科・小児科クリニック	株式会社ヒロテック大分工場
医療法人積善会 千嶋病院	ムラテックメカトロニクス株式会社大分工場
特別養護老人ホーム やすらぎの里	ヤクルトヘルスフーズ株式会社
介護老人保健施設 希の里	(株)エイチワン豊後高田工場
医療法人真萌会 原田医院	土屋製作所 大分工場
うえきデンタルクリニック	(株)東プラスチック・エンジニアリング

京極歯科医院	(株)東陽九州
(株)キャム	旭鋼管九州(株)
山宗株式会社	西日本土木株式会社
ライフコート高田中央	(株)中村建材
(有)豊の里自動車学校	(株)豊洋メット
(株)湯川鉄工所 九州工場	(株)ナカノ
コロン株式会社 大分工場	障害者支援施設 コスモス
(株)住理工大分AE	みずほ育成会
西日本土木株式会社 生コン部	千代田産業真玉工場

合計 123箇所

※ 「★」印は、子育て・健康推進課により、平成23年7月11日に新規設置
(設置台数：20台、機種：日本光電AED-2100)

＜市指定避難所・避難場所＞

小学校区	避難地区	指定避難所	海拔(m)	備 考
高 田	高田地区 水崎地区 来縄地区 界地区	高田小学校	4.04	津波避難時2階以上
		隣保館	4.63	津波避難時2階以上
		西土居集会所	7.16	
		白石集会所	6.89	
		犬田老人憩いの家	10.00	
		楢林老人憩いの家	8.60	
		高田市民グラウンド	13.80	
		来縄児童公園	12.92	
		白石児童公園	9.36	
		割掛遺跡公園	17.50	
桂 陽	玉津地区 新栄地区 美和地区 払田地区	高田中学校	18.95	体育館・グラウンド
		桂陽小学校	12.42	体育館・グラウンド
		大分県立高田高等学校	16.60	体育館・グラウンド
		中央公民館	12.08	
		健康交流センター	11.69	
		旧美和分校グラウンド	35.02	
		中核工業団地「丘の公園」	90.81	
河 内	佐野地区 森地区 小田原地区	河内中学校	28.05	体育館・グラウンド
		河内小学校	28.85	体育館・グラウンド
		河内公民館	28.80	
田 染	田染地区	田染中学校	86.79	体育館・グラウンド
		田染小学校	86.85	体育館・グラウンド
都 甲	東都甲地区 西都甲地区	東都甲公民館	130.13	
		並石ダムグリーンランドこっとな村	208.70	
		都甲小学校体育館	78.03	体育館・グラウンド
		都甲中学校	72.08	体育館・グラウンド
		西都甲公民館	57.42	
草 地	草地地区	草地小学校	9.08	体育館・グラウンド
		草地公民館	9.77	
呉 崎	呉崎地区	和光保育園園庭	6.40	
真 玉	中真玉地区 西真玉地区 上真玉地区	真玉公民館	4.76	津波避難時3階以上
		真玉体育センター	15.76	
		旧真玉火葬場跡地	28.10	
		旧真玉小学校グラウンド	20.36	
		大村グラウンド	16.24	
		真玉小学校	20.37	体育館・グラウンド
		旧上真玉小学校グラウンド	58.95	
	臼野地区	臼野公民館	12.88	
		臼野小学校	19.51	体育館・グラウンド
		真玉市民グラウンド	26.35	
		栗島公園	27.20	
香々地	三重地区	旧三重小学校	61.08	体育館・グラウンド
	三浦地区	三浦小学校	13.17	体育館・グラウンド
	見目地区 香々地地区	香々地中学校	7.16	体育館・グラウンド
		香々地公民館	7.64	
		香々地市民グラウンド	42.00	
		長崎鼻リゾートキャンプ場	18.70	
		大分県立香々地青少年の家	30.94	体育館・グラウンド

＜津波避難ビル＞

協定締結ビル名称	所在地	構 造	収容 可能 人員
N T T 豊後高田ビル	豊後高田市高田宮町 744 番地	鉄筋コンクリート 4 階建	460 名
九州特殊土木株式会社	豊後高田市高田 2878 番地	鉄筋コンクリート 3 階建	270 名
加宝インテックビル	豊後高田市金谷町 1185 番地	鉄筋コンクリート 5 階建	220 名
エクレールヤスタ	豊後高田市新町 988 番地	鉄筋コンクリート 7 階建	300 名
パークサイド野上Ⅱ	豊後高田市新地 1017 番地	鉄筋コンクリート 5 階建	160 名

＜福祉避難所＞

施設名称	所在地	海拔	受入可 能人員
障害者支援施設コスモス	豊後高田市美和 1684 番地	35m	60 名
健康交流センター花いろ	豊後高田市美和 1335 番地 1	11m	10 名
並石ダムグリーンランドこっとん村	豊後高田市一畑 1587 番地	208m	5 名
特別養護老人ホーム 真寿苑	豊後高田市臼野 4298 番地 3	25m	25 名
デイサービスセンター真寿苑	豊後高田市臼野 4298 番地 3	25m	5 名
デイサービスセンター周防苑	豊後高田市臼野 4335 番地 3	25m	20 名
豊後高田市老人介護支援センター	豊後高田市臼野 4335 番地 3	25m	10 名
豊後高田市生活支援ハウス	豊後高田市見目 104 番地	7m	20 名
養護老人ホーム 六郷園	豊後高田市新地 1274 番地	4m	17 名
特別養護老人ホーム やすらぎの里	豊後高田市呉崎 755 番地 1	2m	16 名
スパランド真玉	豊後高田市城前 156 番地 1	34m	22 名
香々地青少年の家	豊後高田市香々地 5151 番地	31m	16 名

消 防 年 報

(令和 6 年版)

編集・発行 豊後高田市消防本部
〒879-0605

大分県豊後高田市御玉 147 番地

TEL : 0978-22-3108 FAX : 0978-22-3542